農工通信

NO. 97
2019.8

The Graduates' Association of Tokyo University of Agriculture and Technology

一般社団法人
東京農工大学同窓会
http://www.tuat-dousoukai.org/

Contents

農工通信 NO. 97

会長就任挨拶…… 1

会長退任挨拶…… 2

理事長就任・退任挨拶…… 3

一般社団法人東京農工大学同窓会第１回通常総会…… 4

同窓会役員等体制と支部長及び連絡員表…… 12

叙勲受章にあたり…… 13
南波　利昭

退職にあたり…… 14
梶　光一、澁澤　栄、松田　浩珍、佐藤　容子、
細見　正明、篠原　俊二郎、内藤　方夫

平成30年度同窓会学生援助事業報告 …… 17

部会･支部･クラス会だより…… 18

掲示板…… 33

事務局だより…… 37

■ 表紙の絵

「ジャガイモ（男爵）」

この男爵は、自家菜園で栽培したもので、品種固有の形状に留意して描きました。

元の名は Irish Cobbler（アイルランドの靴直し職人）。1908 年に川田良吉（男爵）が日本に持ち込んでから、今なお我が国の主力品種で栽培されています。

この絵は、英国の国際展 RHS2015 に出展しゴールドメダルを受賞した根菜類６枚のうちの一枚で、作品は RHS（英国王立園芸協会）コレクションに収蔵されています。

ジャガイモは、栄養的にも優れた食品で人類にとっての宝（Buried treasure）、国際的には、世界ジャガイモ研究所〈CIP、設立 1971 本部ペルー〉を中心に研究と地球規模の普及活動が進められています。

表 紙 絵：堀越 英雄　（農S33）
表紙題字：沢野　 勉　（農化S32）

会長就任の挨拶

同窓会長　栗原　績（農工S42）

東京農工大学同窓会が法人化されて、最初の通常総会が６月22日に小金井キャンパスで開催されました。

この席で、同窓会長に選任された栗原でございます。昨年まで、静岡県支部長を務めており、関係の皆様には大変お世話になりました。

私は、昭和42年に農学部農業生産工学科を卒業しました。卒業後は静岡県庁に就職し、農業農村整備を中心に環境、地域振興等に取組んでまいりました。支部活動には長年係わってきたものの、私に同窓会長の重責が務まるのかと思い悩みましたが、千年理事長はじめ役員の皆様、会員の皆様のご協力を頂き、責任を果たしてまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

前任の能條会長におかれましては、長年の懸案でありました同窓会法人化を、先頭に立って成し遂げられました。部会長会、支部長会を複数回開催して課題を解決し、法人化後の理事会に、支部長会選出の理事も実現して頂きました。能條前会長、滝山前理事長、鈴木法人化検討委員長はじめ関係の皆様に、改めて敬意と感謝を申し上げます。

私が、静岡県庁に入庁した昭和42年の２月に、同窓会名誉会長に就任されていた元建設大臣の竹山祐太郎大先輩（前身の東京帝国大学農学部農学実科大正11年卒）が、静岡県知事に就任しておられました。

この年の秋、竹山県知事も参加された同窓会支部総会が静岡市で開催され、100名を超える同窓生が出席した盛大な会となり、私も職場の先輩とともに参加しました。就職して半年、大先輩ばかりの中での同窓会デビューでしたが、竹山県知事が参加者全員にお酌されたのを覚えており、同窓会だからこそと実感しました。

その後、伊豆半島先端部に勤務していたため、同窓会活動にはなかなか参加できませんでしたが、11年目に静岡市の県庁勤務になってからは、先輩の皆様とともに事務局の一員として積極的に活動させて頂きました。

先輩役員のリーダーシップで、30数年前支部規約を改正し、支部長の専任性、会員によるミニ講演（当初は一般公開）、出席会員の１分間報告などにも取組んできました。これらは、現在いくつかの支部でも実施されており、支部活動の活性化に向けて、一層広がって行けばと願っております。

同窓会の目的は、会員相互の親睦を深め、併せて世界が認知する研究大学を目指して取組んでいる母校の発展に寄与することにあり、この目的を達成するための事業を継続して行うことが重要です。

法人化により誕生した一般社団法人東京農工大学同窓会として、そのメリットを十分生かした活動に向けて、副会長の皆様、千年新理事長はじめ理事の皆様、部会長、支部長の皆様、池谷事務局長はじめ事務局の皆様のご協力をいただき取組んでまいりたいと存じます。

結びに、同窓会会員の皆様の変わらぬご支援ご協力をお願いし、会長就任の挨拶といたします。

会長退任の挨拶

能條　武夫（繊高S48）

平成29年5月の第54回定期総会にて同窓会長を拝命し、早２年が経過いたしました。大役を仰せつかったにもかかわらず十分な知識もなく、役員の皆様方にご迷惑を掛け、同窓会活動の足手纏いになってしまったのではないかと反省するばかりです。

歴代の優秀な会長の名を汚すことの無いよう、早く適切な方に引き継ぎをしていかねばと思い続けておりました。今年度より、実績を積まれ同窓会を熟知された栗原会長に引き継ぎをすることが出来たこと大変うれしく思っております。更なる同窓会の発展に向け、会の活動を導いて下さることと確信をしております。

さて、この２年間の大きな課題は同窓会の「法人化」への取り組みでありました。３年近くの準備期間を経て、昨年10月１日に「一般社団法人東京農工大学同窓会」を無事スタートすることが出来ました。これも偏に法人化検討委員会の皆様の地道な努力、部会及び支部会の皆様のご理解、滝山理事長はじめ副会長・理事の方々、池谷事務局長のご尽力のお蔭と心より感謝申し上げます。

「令和元年」この改元の年に合わせ、東京農工大同窓会も「一般社団法人」として第一回目の通常総会が開催され活動がスタート致しました。一般社団法人化により円滑な組織運営が出来、それが同窓会活動の活性化にも繋がって行くことを心より願っております。

国立大学は大学法人化以降、少子高齢化や人口減少、地域創生、グローバル化の進展等の急激な社会変化の中で運営費交付金等の支給額も削減され、大学独自の自立性を強く要求されています。各大学はそれぞれの大学の強みや特色を生かして「周辺地域・国・世界に貢献」するために様々な改革に懸命に取り組んでおります。実践的な中期計画や中期目標が設定され、細部にわたって進捗を管理されていますし、実績についてはその都度大変厳しい評価が実施されています。農工大においては最近マスコミ等でもその成果を聞く機会が増え、各項目について高い評価を残してきております。これも日頃の先生方、各職員の方々のご努力の賜物と心より敬意を表し、同窓生の一人としても大変誇らしく思っております。

同窓会は同窓生同士の親睦と農工大の発展を願うものであります。大学と同窓生との繋がりは同窓会としての様々な活動や、大学のホームカミングデー、学長との懇談会、企業トップセミナー等、卒業生との絆を深める取り組みが様々な形で開催されています。是非、同窓会員皆様方の積極的な参加によりそれぞれの活動を盛り上げて頂き、会員相互の親睦を深めると共に、農工大の今後更なる発展に繋げて頂きたいと思っております。

私も今後は大阪支部の一員として参加させて頂き、同窓会活動を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

在任期間中のご支援ご協力誠に有難うございました。

理事長就任の挨拶

理事長　千年　篤（農S58）

今後２年間、理事長を務めさせて頂くこととなりました。何卒よろしくお願い申し上げます。周知のとおり、本同窓会は昨年10月に一般社団法人として新たなスタートを切りました。滝山博志前理事長、鈴木創三法人化検討委員長、池谷紀夫事務局長を中心に２ヵ年強にわたり慎重に検討を重ね法人化にこぎ着けました。今回、円滑に法人に移行できたのは本同窓会の底力の証左であり、部会・支部会の関係会員の結束力があったからこそ可能だったと実感しております。

令和の初頭、私に与えられた使命は、本同窓会を可能な限りパワーアップさせ、諸活動の充実を図ることであると考えます。前体制の業務の継続を基本にして進めてまいりますが、そのなかで次の２点に特に重点をおいていければと思っております。第１は、準会員である在学生への支援の強化です。同窓会の円滑な活動には、会員間の交流が不可欠なのは言うまでもありませんが、同時に在学生に同窓会の意義を理解してもらい、卒業/修了後、正会員として活躍してもらえる下地を在学中にかたちづくっておくことも重要であると考えるからです。第２は、会員の部会・支部会をこえたネットワークの拡充です。特にキャリアにおいて第一線を退かれた会員の皆様には、これまで培われてきた知識、技術、経験等をもって、本学の教育・研究の発展、若手会員（在学生含む）への就職支援、地域社会への貢献等により組織的にご活躍頂けないか、その方策の検討に取り組んでいきたいと考えております。

以上の２点に限らず、同窓会の発展には、大学との緊密な連携が不可欠となります。一方、本学の発展には、同窓会からの支援も重要となります。ついては、大学当局との協議、そして法人化に伴いより実効力を増した理事会を通して、適切な方策を検討していく所存です。会員の皆様には、引き続き、ご支援、ご協力ならびに忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

理事長退任の挨拶

滝山　博志（化工S62）

平成30年10月１日に、同窓会は一般社団法人東京農工大学同窓会として新たなスタートを切ることができました。平成28年から３年間理事長を務めさせていただきましたが、会員の方々の叱咤激励が大いなる推進力となり、法人化を成し遂げることができました。法人化によって理事の責務が今まで以上に明確化されますが、国内のみならず、海外にもより信用性のある組織へと生まれ変わり、グローバル時代に対応できるようになりました。部会・支部を中心として、会員の皆様には心よりご協力に感謝いたします。また、部会・支部に対して、法人化の説明を丁寧にしていただきました、法人化検討委員会の鈴木創三委員長をはじめ、池谷事務局長、そして常務理事の先生方にも御礼申し上げます。

法人化の他にも、１）準会員の援助について、２）部会・支部活動支援について、３）持続的な運営経費のあり方について、４）分収林の課題についてなどを会員皆様のご意見をお伺いしながら検討してまいりました。同窓会が持続的に活動するためには、卒業後の会員交流がもちろん大切ですが、準会員が在学時から「身近に感じる同窓会」そして「賛助会員にも理解される同窓会」であることが大切です。そこでこの３年間に、就職支援についても大学と協力しながら企業説明会を実施するなど、具体的な方策を新たに打ち出してきました。就職支援を通じた準会員へのサービスは今後も充実が望まれる事業だと思います。

令和の時代を迎えるとともに一般社団法人東京農工大学同窓会がますます活発に、そして持続的に活動できるよう、今後も皆様方の末永いご支援を賜りたくお願い申し上げます。

一般社団法人東京農工大学同窓会 第１回通常総会

■日時：令和元年6月22日（土）13：30～14：40　■場所：小金井キャンパス
■総会出席者：133名　決議書提出者38名　合計171名

第１回通常総会は、６月22日（土）小金井キャンパスで開催された。通常総会の開催にあたって、千年副理事長から、出席者が定足数を超え通常総会が成立した旨の報告があった。能條会長から、出席いただいた方々に対するお礼と、有意義な討論のお願いの挨拶があった。続いて、大野学長をはじめ、来賓（梅田理事、岡山理事、堀川理事、千葉農学府長、神谷グローバルイノベーション研究院長、松永名誉顧問、畑中名誉会長、藤森名誉会長、草野名誉会長）の紹介があった。大野学長から、同窓会の支援に対する謝意があり、協力関係強化についてのお話があった。

引き続き、千年副理事長から、通常総会の議長については、定款第18条に基づき能條会長が務める旨の説明があった後、定款第19条第２項第五号及び第20条により選出された能條会長及び田谷代議員、澤田代議員が議事録署名人となり議事に入った。

議事

審議事項：１

平成30年度　貸借対照表（案）及び損益計算書（正味財産計算書）（案）の件

報告事項：①平成30年度　事業報告の件
報告事項：②平成30年度　監査報告の件
報告事項：③平成30年度　旧同窓会事業報告及び決算報告の件

上記案件は関連するため、一括して審議及び報告がなされた。

滝山理事長から、平成30年度 貸借対照表（案）【別記１】、損益計算書（正味財産計算書）（案）【別記２】、平成30年度事業報告【別記３】の提案説明、平成30年度 旧同窓会事業報告及び決算報告（同窓会ホームページに掲載）の報告があった。また、加藤監事から平成30年度旧同窓会の監査及び一般社団法人化後の同窓会の監査について、適正に行われている旨の報告があった。

審議の結果、審議事項：１が承認され、報告事項①②③が了承された。

審議事項：２

規則の改正（案）の件

滝山理事長から、諸規則の改正について提案説明があり、審議の結果、「代議員選出方法に関する規則」「代議員候補者の選定に関する申し合わせ」「立候補代議員に関する申し合わせ」（同窓会ホームページに掲載）が承認された。

審議事項：３

会長・副会長・理事・監事選任（案）の件

滝山理事長から、会長・副会長・理事・監事選任（案）【別記４】について提案説明があり、審議の結果、承認された。

報告事項：④2019年度 事業計画の件

滝山理事長から、2019年度 事業計画【別記５】について説明があり、了承された。

報告事項：⑤2019年度 収支予算の件

滝山理事長から、2019年度 収支予算【別記６】について説明があり、了承された。

報告事項：⑥特別会員の推薦報告の件

滝山理事長から、2019年度 特別会員の推薦報告【別記７】（同窓会ホームページに掲載）について説明があり、了承された。

その他の件

なし

【別記１】 平成30年度　貸借対照表（案）（平成31年３月31日現在）

（単位：円）

一般会計

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	47,156,650	0	47,156,650
現金	18,876	0	18,876
当座預金	29,416,292	0	29,416,292
普通預金	17,721,482	0	17,721,482
定期預金	0	0	0
流動資産合計	47,156,650	0	47,156,650
２．固定資産			
⑴基本財産			
定期預金	40,000,000	0	40,000,000
普通預金	5,226,500	0	5,226,500
投資有価証券	284,773,500	0	284,773,500
基本財産合計	330,000,000	0	330,000,000
⑵特定資産			
八王子分収林育成林木	32,877,400	0	32,877,400
特定目的事業積立資産	0	0	0
特定資産合計	32,877,400	0	32,877,400
⑶その他固定資産			
什器備品	0	0	0
投資有価証券	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	362,877,400	0	362,877,400
資産合計	410,034,050	0	410,034,050

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	0	0	0
預り金	71,161	0	71,161
仮受金	0	0	0
流動負債合計	71,161	0	71,161
２．固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	71,161	0	71,161
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	32,877,400	0	32,877,400
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	32,877,400	0	32,877,400
２．一般正味財産			
一般正味財産合計	377,085,489	0	377,085,489
（うち基本財産への充当額）	330,000,000	0	330,000,000
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
正味財産合計	409,962,889	0	409,962,889
負債及び正味財産合計	410,034,050	0	410,034,050

【別記2】 平成30年度　正味財産増減計算書（案）（平成30年10月１日から平成31年３月31日まで）　（単位：円）

一般社団法人　東京農工大学同窓会　一般会計

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
運用財産収入	25,706,697	0	25,706,697
入会金	3,325,000	0	3,325,000
年会費	402,000	0	402,000
終身会費	1,460,000	0	1,460,000
賛助会費	19,820,000	0	19,820,000
利息	479,397	0	479,397
寄附金	300	0	300
雑収入	220,000	0	220,000
経常収益計	25,706,697	0	25,706,697
(2) 経常費用			
運用財産支出	17,970,504	0	17,970,504
事業費	10,620,910	0	10,620,910
動静調査費	313,681	0	313,681
会報発行費	4,977,749	0	4,977,749
ＨＰ管理作成費	165,136	0	165,136
部会・支部活動費	1,781,800	0	1,781,800
母校援助費	2,444,788	0	2,444,788
新入正会員歓迎費	749,620	0	749,620
分収林管理費	7,830	0	7,830
資料整備費	180,306	0	180,306
減価償却費	0	0	0
会議費	1,778,733	0	1,778,733
総会会議費	0	0	0
理事会会議費	144,728	0	144,728
副会長懇談会（部会長会）会議費	196,300	0	196,300
支部長会会議費	1,403,002	0	1,403,002
常務理事会（運営委員会）会議費	34,703	0	34,703
管理費	5,570,861	0	5,570,861
人件費	2,648,823	0	2,648,823
社会保険料等	127,420	0	127,420
備品費	0	0	0
消耗品費	22,586	0	22,586
複写機トータルサービス料	185,899	0	185,899
通信費	118,155	0	118,155
旅費	594,420	0	594,420
事務用品印刷費	23,544	0	23,544
慶弔費	21,858	0	21,858
光熱水費	48,895	0	48,895
職員厚生費	0	0	0
租税公課	73,412	0	73,412
振込手数料	146,242	0	146,242
その他雑費	1,559,607	0	1,559,607
特定目的事業支出	0	0	0
八王子分収林育成事業費	0	0	0
周年記念事業費	0	0	0
学生援助事業費	0	0	0
被災会員支援事業費	0	0	0
図書等刊行事業費	0	0	0
その他本財産に適合する事業費	0	0	0
経常費用計	17,970,504	0	17,970,504
評価損益等調整前当期経常増減額	7,736,193	0	7,736,193
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	7,736,193	0	7,736,193
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,736,193	0	7,736,193
一般正味財産期首残高	369,349,296	0	369,349,296
一般正味財産期末残高	377,085,489	0	377,085,489
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
八王子分収林育成林木	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	32,877,400	0	32,877,400
指定正味財産期末残高	32,877,400	0	32,877,400
Ⅲ　正味財産期末残高	409,962,889	0	409,962,889

【別記３】平成30年度事業報告

平成30年10月１日に旧同窓会より年間事業計画を引き継ぎ、継続的に事業を実施した。

（1）第55回理事会・通常総会の開催（旧同窓会が実施）

平成30年５月26日（土）府中キャンパスにて第55回理事会・通常総会を開催した。

議事内容は、１）平成29年度事業報告（案）、２）平成29年度収支決算報告（案）、３）平成29年度監査報告、４）平成30年度事業計画（案）、５）平成30年度収支予算（案）、６）同窓会法人化について、７）理事・監事・代議員の任期延長について、８）特別会員の推薦報告について、９）名誉会長・名誉顧問及び顧問の推挙について、10）その他の件

（2）平成30年度各種会議の開催

平成30年11月10日（土）、府中キャンパスにて法人移行後の第１回理事会、副会長懇談会、部会長会及び支部長会を開催した。平成31年３月16日（土）に第２回理事会を開催した。

（3）同窓会組織の強化及び活性化

１）一般社団法人化を完了させ、安定した運営が行えるようにした。
２）代議員選挙を実施した。
３）部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年２回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努めた。
４）常務理事（運営委員）の部会・支部への派遣も引続き行い、今まで派遣していない支部にも派遣できるようにした。大学役員の派遣依頼にも応えられるよう大学との連携を図った。
５）部会・支部活動の活性化のための支援の方策を検討した。
６）同好会活動の充実に努めた。
７）立候補代議員の登録の増加に努めた。
８）部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会WEBページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実について検討を重ねた。
９）入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施した。
10）歳出削減に努めた。

（4）同窓会の課題及び今後の対応

１）学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレンツデーにて配布）及び同窓会WEBによるPR活動に努めた。
２）分収林の課題について、引き続き議論を重ねた。
３）海外支部設置について、検討を引き続き行った。
４）農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。
５）祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。

（5）準会員に対する援助、新入生歓迎行事の継続実施

準会員（学生）の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助、同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援等の援助並びに卒業・修了証書カバーの贈呈

を行った。また、大学と協力しながら就活セミナー等を開催することで、同窓生となる準会員に対して、就職支援を行った。

（6）その他

１）改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行った。

２）校歌・寮歌のＣＤ化作業をさらに進めた。

【別記４】次期会長・副会長・理事及び監事の提案

会　長（第３回総会終結の時まで）

栗原　　績（農工S42）

副会長（第３回総会終結の時まで）

内藤　廣信（農Ｓ41）	農学・生物生産学部会
安藤　俊幸（蚕糸Ｓ49）	蚕糸生物学部会
佐藤　令一（植防Ｓ54）	植防・応用生物学部会
柿内　久弥（農化Ｓ54）	農芸化学・応用生命化学部会
佐藤　敬一（林産Ｓ56）	林産・生物資源工学部会
伊豆田　猛（環保Ｓ59）	環境科学部会
本山　芳裕（林Ｓ48）	林学部会
島田　　清（農工Ｓ48）	生産環境工学部会
小池　伸介（地生Ｈ13）	地域生態システム学部会
田谷　一善（獣医Ｓ46）	獣医学部会
草間　健一（製糸Ｓ43）	製糸・高分子・生命工学部会
千田　　武（繊工Ｓ46）	繊維・有機材料部会
高野　文夫（化工Ｓ51）	化学工学部会
前川　佳博（工化Ｓ48）	応用分子化学部会
澤田　孚夫（機械Ｓ40）	機械システム工学部会
竹村　　淳（電子Ｈ３）	電気電子工学部会
水野　隆司（応物Ｓ46）	物理システム工学部会
王　　大慶（情報院Ｈ24）	情報工学部会
加藤　美治（MOT　H21）	MOT部会
二見　能資（生シ院Ｈ14）	BASE部会
船田　　良（連農Ｓ63）	連合農学部会

理事（第３回総会終結の時まで）

安藤　俊幸（蚕糸Ｓ49）	蚕糸生物部会
柿内　久弥（農化Ｓ54）	農芸化学・応用生命化学部会
本山　芳裕（林Ｓ48）	林学部会
千田　　武（繊工Ｓ46）	繊維・有機材料部会
高野　文夫（化工Ｓ51）	化学工学部会
加藤　美治（MOT　H21）	MOT部会

千年　　篤（農Ｓ58）　　府中地区
桑原　利彦（生機Ｓ57）　　小金井地区
戸田　浩人（林Ｓ59）　　府中地区
三宅　信行（環保Ｓ55）　　広島県支部
杉山　嘉英（林Ｓ52）　　静岡県支部
河野　　詵（獣医Ｓ45）　　山形県支部
村松梅太郎（獣医Ｓ39）　　栃木県支部
馬場　信行（林Ｓ35）　　東京都支部
佐々木良和（農工Ｓ39）　　大阪府支部

監事（第３回総会終結の時まで）
加藤　　誠（農工Ｓ44）
鈴木　創三（農Ｓ47）
小林龍一郎（電気Ｓ51）

【別記５】　2019年度事業計画

（1）第1回通常総会の開催

2019年６月22日（土）小金井キャンパスにて第１回通常総会を開催する。
議事内容は、１）平成30年度事業報告（案）、２）平成30年度収支決算報告（案）、３）平成30年度監査報告、４）2019年度事業計画、５）2019年度収支予算、６）会長・副会長・理事・監事の選任について、７）特別会員の推薦報告について、８）その他の件、９）新旧会長・新旧理事長の挨拶

（2）2019年度各種会議の開催

2019年５月、11月及び2020年３月に、府中キャンパスにて理事会を、2019年11月に副会長懇談会・部会長会を開催する。

（3）同窓会組織の強化及び活性化

１）一般社団法人にふさわしい形で、安定した運営が行えるようにする。
２）部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の年２回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。
３）運営委員・監事・事務局長の部会・支部への派遣も引続き行い、今まで派遣していない支部にも派遣できるようにする。大学役員の派遣依頼にも応えられるよう大学との連携を図る。
４）部会・支部活動の活性化のための支援の方策を検討する。
５）卒業生に対して、大学が発行する証明書の発行手数料を援助する。
６）同好会活動の充実に努める。
７）部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会WEBページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実について検討を重ねる。
８）入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施する。
９）歳出削減に努める。

（4）同窓会の課題及び今後の対応

１）学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレンツデーにて配布）及び同窓会WEBによるPR活動に努める。

２）旧同窓会の分収林小委員会で議論した経緯を踏まえ、2020年３月31日に契約期間が満了する分収造林契約について、引き続き八王子市役所と協議する。

３）海外支部設置について、検討を引き続き行う。

４）農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。

５）祝電・弔電により祝意・弔意を表する。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈する。

（5）準会員に対する援助、新入正会員の歓迎行事の継続

大学と協力しながら就活セミナー等の開催や同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援の援助等をすることで、同窓生となる準会員（学生）に対して、就職支援等の充実を図る。準会員の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。

（6）その他

１）改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行う。

２）校歌・寮歌のＣＤ化準備作業をさらに進める。

【別記6】 2019年度予算

（単位：円）

No.	区分	細分	項目	2019年度予算額①	平成30年度予算額②	差異①－②	摘要
1	基本財産	収入	基本財産（前年度繰越金　6）	330,000,000	330,000,000	0	
2			余剰金からの繰入れ（30%超える分）	0	0	0	
3			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0	
4			収入合計（1＋2＋3）	330,000,000	330,000,000	0	
5		支出	他の財産へ繰出し	0	0	0	
6			支出合計（5）	0	0	0	
7		基本財産残高（4－6）→次年度繰越金		330,000,000	330,000,000	0	
8	運用財産	収入	前年度繰越金	4,599,855	12,900,359	-8,300,504	前年度の剰余金
9			入会金	3,500,000	3,300,000	200,000	前年度実績3,555千円を勘案
10			年会費	1,000,000	1,200,000	-200,000	前年度実績1,374千円を勘案
11			終身会費	3,000,000	3,000,000	0	前年度実績3,205千円を勘案
12			賛助会費	21,000,000	21,000,000	0	前年度実績21,240千円を勘案
13			利息	1,000	899,397	-898,397	基本財産運用益を別項目とした。
14			寄附金	0	54,006	-54,006	
15			雑収入	2,100,000	1,331,000	769,000	増加につとめるとともに、企業説明会収入の増加を見込む
16			基本財産運用益	900,000	0	900,000	本年度より国債に関わる運用益を別項目とした
17			収入合計（8～16の計）	36,100,855	43,684,762	-7,583,907	
18		支出	動静調査費	600,000	583,979	16,021	前年度実績約579千円を勘案
19			会報発行費	10,000,000	10,000,786	-786	昨年度実績10,000千円を勘案
20			HP管理作成費	300,000	278,276	21,724	前年度実績270千円を勘案
21			部会・支部活動費	6,300,000	6,710,000	-410,000	前年度実績は約5,961千円だが、部会・支部活動の更なる支援をするため6,300,000円を計上
22			母校援助費	0	5,533,069	-5,533,069	本年度は特定目的事業財産から支出
23			卒業生援助費	1,780,000	780,000	1,000,000	前年度実績約760千円に証明書発行手数料支援1,000千円を加算計上
24			分収林管理費	50,000	29,220	20,780	前年度実績額約21千円と本年度活動費の増を見込んで計上
25			資料整備費	300,000	277,638	22,362	前年度実績約218千円を勘案し余裕をみて計上
26			事業費計（18～25の計）	19,330,000	24,192,968	-4,862,968	
27			総会会議費	4,000,000	3,790,034	209,966	前年度実績約3,790千円を勘案
28			理事会会議費	600,000	600,000	0	前年度と同額を計上
29			副会長懇談会（部会長会）会議費	200,000	120,000	80,000	前年度実績約196千円を勘案
30			支部長会会議費	0	2,000,000	-2,000,000	本年度開催しない
31			運営委員会会議費	100,000	129,072	-29,072	前年度実績は約56千円だが、余裕を見て100千円を計上
32			会議費計（27～31の計）	4,900,000	6,639,106	-1,739,106	
33			人件費	5,600,000	5,662,847	-62,847	前年度実績は約5,520千円だが余裕を見て5,600千円を計上
34			社会保険料等	360,000	369,591	-9,591	前年度実績約360千円を勘案
35			備品費	0	0	0	前年度実績0円を勘案
36			消耗品費	500,000	206,988	293,012	前年度実績は約108千円だがパソコンの更新時期なので500千円計上
37			複写機トータルサービス料	620,000	621,195	-1,195	前年度実績は約570千円だが、余裕を見て620千円を計上
38			通信費	250,000	245,619	4,381	前年度実績は約250千円を勘案
39			旅費	1,700,000	1,741,780	-41,780	前年度実績約1,664千を勘案
40			事務用品印刷費	50,000	61,772	-11,772	前年度実績は約24千円だが、余裕を見て50千円を経常
41			慶弔費	50,000	55,360	-5,360	前年度実績は約41千円だが、変動も見込まれるので50千円を計上
42			光熱水費	120,000	137,373	-17,373	前年度実績約116千円を勘案
43			職員厚生費	50,000	76,892	-26,892	退職金、人間ドック等
44			租税公課	150,000	152,649	-2,649	前年度実績約146千円を勘案
45			振込手数料	300,000	286,620	13,380	前年度実績額は280千円だが、余裕を見て300千円を計上
46			その他雑費	800,000	3,234,002	-2,434,002	
47			管理費計（33～46の計）	10,550,000	12,852,688	-2,302,688	
48			予備費	1,320,855	0	1,320,855	
49			支出合計（26＋32＋47＋48）	36,100,855	43,684,762	-7,583,907	
50		運用財産残高（17－49）→次年度繰越金		0	0	0	
51	特定目的事業財産	収入	前年度繰越金	40,911,485	41,131,773	-220,288	
52			余剰金からの繰入（30%を超える分）	0	0	0	
53			上記以外の余剰金からの繰入	0	0	0	
54			収入合計（51＋52＋53）	40,911,485	41,131,773	-220,288	
55		支出	八王子分収林育成事業支出	0	0	0	
56			学生援助事業支出	5,500,000	0	5,500,000	本年度は事業費から支出
57			被災会員支援事業支出	0	0	0	
58			図書等刊行事業支出	0	0	0	
59			その他本財産に適合する事業支出	0	0	0	
60			支出合計（55～59の計）	5,500,000	0	5,500,000	
61		特定目的事業財産残高（54－60）→次年度繰越金		35,411,485	41,131,773	-5,720,288	
62	合計（7＋50＋61）			365,411,485	371,131,773	-5,720,288	
63	特定資産		八王子分収林育成林木	32,877,400	32,877,400	0	平成15年8月評価
64	総合計（62＋63）			398,288,885	404,009,173	-5,720,288	

同窓会役員等体制と支部長 及び 連絡員表

同窓会役員等体制（第１回通常総会終了時～第３回通常総会）

会　長

栗原　　績（農工Ｓ42）

副会長

内藤　廣信	（農Ｓ41）	農学・生物生産学部会
安藤　俊幸	（蚕糸Ｓ49）	蚕糸生物学部会
佐藤　令一	（植防Ｓ54）	植防・応用生物学部会
柿内　久弥	（農化Ｓ54）	農芸化学・応用生命化学部会
佐藤　敬一	（林産Ｓ56）	林産・生物資源工学部会
伊豆田　猛	（環保Ｓ59）	環境科学部会
本山　芳裕	（林Ｓ48）	林学部会
島田　　清	（農工Ｓ48）	生産環境工学部会
小池　伸介	（地生Ｈ13）	地域生態システム学部会
田谷　一善	（獣医Ｓ46）	獣医学部会
草間　健一	（製糸Ｓ43）	製糸・高分子・生命工学部会
千田　　武	（繊工Ｓ46）	繊維・有機材料部会
高野　文夫	（化工Ｓ51）	化学工学部会
前川　佳博	（工化Ｓ48）	応用分子化学部会
澤田　孚夫	（機械Ｓ40）	機械システム工学部会
竹村　　淳	（電子Ｈ３）	電気電子工学部会
水野　隆司	（応物Ｓ46）	物理システム工学部会
王　　大慶	（情報院Ｈ24）	情報工学部会
加藤　美治	（ＭＯＴ Ｈ21）	ＭＯＴ部会
二見　能資	（生シ院Ｈ14）	ＢＡＳＥ部会
船田　　良	（連農Ｓ63）	連合農学部会

理事会

理 事 長	千年　　篤	（農Ｓ58）
副理事長	桑原　利彦	（生機Ｓ57）
副理事長	戸田　浩人	（林Ｓ59）
理　　事	安藤　俊幸	（蚕糸Ｓ49）
〃	柿内　久弥	（農化Ｓ54）
〃	本山　芳裕	（林Ｓ48）
〃	千田　　武	（繊工Ｓ46）
〃	高野　文夫	（化工Ｓ51）
〃	加藤　美治	（ＭＯＴ Ｈ21）
〃	三宅　信行	（環保Ｓ55）
〃	杉山　嘉英	（林Ｓ52）
〃	河野　　詵	（獣医Ｓ45）
〃	村松梅太郎	（獣医Ｓ39）
〃	馬場　信行	（林Ｓ35）
〃	佐々木良和	（農工Ｓ39）

監　事

加藤　　誠（農工Ｓ44）
鈴木　創三（農Ｓ47）
小林龍一郎（電気Ｓ51）

運営委員

総務部長	野村　義宏	（農化Ｓ59）
副 部 長	斉藤美佳子	（工化Ｈ１）
副 部 長	赤井　伸行	（環資Ｈ11）
事業部長	滝山　博志	（化工Ｓ62）
副 部 長	佐々木一昭	（獣医Ｈ４）
経理部長	富永　洋一	（物生Ｈ７）
副 部 長	野口　恵一	（材料Ｈ１）
広報･情報部長	亀山　秀雄	（化工Ｓ48）
副 部 長	村上　　尚	（応化Ｈ12）
副 部 長	水川　薫子	（環資Ｈ18）

事務局長

池谷　紀夫（農Ｓ49）

同窓会支部長及び連絡員（2019年６月末日現在）

支部名	支部長名	連絡員名
北海道	宇野澤正美　（農工S46）	伊藤　隆之　（農工S62）
青　森	山舘　昭夫　（林S52）	白石　一志　（農Ｈ４）
秋　田	野村　俊悦　（農S44）	吉田　育男　（植防Ｈ４）
岩　手	山田　　亙　（農S52）	小澤　　結　（環資H11）
山　形	河野　　詵　（獣医S45）	川崎　聡明　（生産Ｈ９）
宮　城	鈴木　正彦　（林S57）	大類　清和　（林Ｈ２）
福　島	荒井　賢治　（農工S47）	松本　文章　（環保Ｈ４）
茨　城	川野　和彦　（林S50）	磯邉　晋吾　（林 S62）
栃　木	村松梅太郎　（獣医S39）	南木　好樹　（農工S58）
群　馬	小野宇三郎　（繊別S33）	影澤　圭太　（林産Ｈ３）
埼　玉	金本　伸郎　（農S51）	竹詰　　一　（農Ｈ２）
千　葉	前之園孝光　（獣医S44）	津金　胤昭　（応生Ｈ６）
東　京	馬場　信行　（林S35）	稲田真樹子　（地生H17）
神奈川	真子　正史　（農S41）	黒澤　　晃　（農Ｈ２）
新　潟	和唐　博恭　（製糸S44）	村山　康則　（農Ｈ３）
富　山	林　　繁利　（工化S39）	飯野　　師　（地生H18）
石　川	森倉　正信　（養蚕S48）	濱崎　貴史　（環資H15）
福　井	野坂　雄二　（農工S53）	新海　隆介　（環・資H12）
山　梨	篠原　隆美　（養蚕S44）	藤川　　裕　（生産Ｈ８）
長　野	飯島　章彦　（植防S50）	小松　栄介　（環･資Ｈ８）
岐　阜	工藤　正弘　（繊工S44）	雨宮　功治　（植防S60）
静　岡	杉山　嘉英　（林S52）	土屋　雄人　（応生H20）
愛　知	瀧上　紀吉　（機械S41）	水野銈一郎　（農S42）
三　重	古野　　優　（獣医S60）	西野　　実　（生産Ｈ７）

支部名	支部長名	連絡員名
大　阪	佐々木良和　（農工S39）	中野　　淳　（機械S60）
京　都	西村　　寿　（農工S50）	松井　　崇　（農工S51）
滋　賀	川島　長治　（農S39）	鈴木　一成　（地生H25）
奈　良	山本　治幸　（電気S54）	岩治　　新　（地生H20）
和歌山	毛呂　　眞　（林S41）	中村　純子　（環・資H6）
兵　庫	上坂　修一　（林産S54）	安徳　剛志　（林S59）
岡　山	内藤　照章　（獣医S34）	谷　　智仁　（林S61）
広　島	三宅　信行　（環保S55）	石田　一之　（機械S59）
山　口	松村　　聡　（工化S46）	岡本　賢一　（植防Ｈ４）
鳥　取	江原　宏昭　（農院S48）	門脇　　亙　（製糸S54）
島　根	桑本　幸夫　（林産S56）	松浦　史瑞　（林産Ｈ１）
香　川	岡崎　　進　（獣医S38）	河野　幸彦　（林S63）
徳　島	長谷川　進　（工化S47）	小杉純一郎　（林S63）
高　知	寺峰　　孜　（養蚕S45）	豊田　陽一　（蚕糸S57）
愛　媛	鈴木　東義　（工化 S39）	尾中　直道　（林Ｈ７）
福　岡	西田　晴二　（獣医S41）	平島　亮介　（生産H13）
佐　賀	御厨　秀樹　（植防S56）	御厨　秀樹　（植防S56）
長　崎	内山　　満　（林S49）	古賀　淳士　（農S52）
熊　本	安尾　博徳　（農工S49）	永山　裕治　（環保Ｈ１）
大　分	松久　房義　（蚕糸S50）	川ノ上　実　（生産H12）
宮　崎	池田　典昭　（林S49）	井之上英行　（農工Ｈ４）
鹿児島	上原　武志　（植防S42）	平　　繁人　（養蚕S45）
沖　縄	糸数　　剛　（農工S45）	花城　　薫　（林産Ｈ３）
横浜会	児玉　満男　（製糸S34）	松島　　稔　（製糸S37）

叙勲受章にあたり

【平成30年秋の叙勲】

仲間に支えられて半世紀

南波　利昭（農Ｓ46）

平成30年秋の叙勲で、はからずも瑞宝小綬章をいただいた。役人をやってきて、それなりの齢を重ねれば何かしらいただけるものと、ことさら意識したことはなかったが、内示をいただいた時に「そうか、今回が今上天皇への最後の拝謁となるのだな」との感慨が湧いた。

新潟県で生を受けたとはいえ東京の水で育った者にしては珍しく、小学校高学年の時から農業を生業にしたいと考えていた。農工大に入学してからは八郎潟への入植勉強会に加わったり、手ごろな牧場はないかと中国山地を見回ったり、北海道、四国、九州の篤農家に押しかけては勝手に実習生になったりと、研究室そっちのけで生産現場を訪ね歩いた。

◇結局のところ元来の度胸なしが災いし、平凡なサラリーマンとして農林水産省に職を得ることになったが、その後もずっと畜産一筋で古希を迎えるに至った。現在でも畜産関係の仕事、具体的には国産畜産物の輸出促進の仕事に勤しんでいる。このことで今までお世話になった畜産へのご奉公ができるものと喜んでいる。中でも和牛肉の輸出の伸びは素晴らしく、農林水産業全体の輸出目標額を７年間で２倍増（１兆円）に定めた中で、牛肉だけは５倍の輸出目標（250億円）を課せられた。にもかかわらず昨年末には１年前倒しでほぼ目標値レベル（247億円）に達した。

◇背景には日本の名だたる食肉メーカー、大規模な肥育牛農家を始め多くの牛肉関係の方々の協力のもと、オールジャパン、オール畜産、オール和牛の掛け声のもとに一丸となって取り組んで頂けたことが第一にあげられる。加えてそこかしこで大学の同窓生であり、現役時代に仕事を共にした業界の皆様に助けていただいたことが大きい。その方々との絆をその時限りで終わらせることなく連綿と紡いできた延長線上に今回の叙勲があったような気がする。

◇そういえば、学生時代に全国を放浪していた時にも農学部のOB諸氏には一宿一飯の恩義に始まり、ご本人の仕事場を見せていただいたり、周囲にいる方々を紹介いただくなど、ひとかたならぬお世話と応援をいただいたことを思い出す。OBが研究室にふらり訪ねてきては業界の生きた社会勉強をさせていただいたこともたびたびであった。

◇畜産学研究室（佐藤幹教授）では、現在でも毎年３月の第一土曜日に、「卒業生追いコン」に併せて「OB・OG会」を開催してくれる。今となっては後輩のために教えられることよりも、後輩の活躍を聞いては畜産の先端事情を知ることが圧倒的に多くなってきたが、私にとって人々から支えていただいた原点がこの「追いコン兼OB会」にあることを改めて気付かされる叙勲であった。感謝多謝。

（現（公社）畜産技術協会会長）

退職にあたり

農学研究院教授　梶　光一

平成18年に北海道環境科学研究センターから農学部地域生態システム学科に教授として赴任し、以来13年間にわたって教育と研究に従事し、この３月に無事に定年退職の時を迎えることができました。北海道で人生の半分を過ごしてからの異動でしたが、緑豊かなキャンパスで、教職員の皆様のご支援をいただきながら、優秀な学生たちに恵まれて過ごすことができたことは、何よりも幸せに感じています。私の専門は野生動物管理学であり、我が国では発展途上の学問領域です。本学で次世代の野生動物管理の人材の育成を役割として勤務してまいりましたが、社会に巣立った卒業生たちと再会して活躍する姿を見るにつれ、大学教員という仕事のありがたさを改めて思います。人口減少社会を迎え、社会が大きく変動する時代を迎えますが、本学が今後もますます発展されることを願っております。

農学研究院教授　澁澤　栄

平成５年１月、農学部環境・資源学科の助教授に着任以来、26年あまりを府中キャンパスで勤めさせていただきました。着任直後の平成７年は忘れられません。１月17日に発生した阪神淡路大震災の惨状を見て、学生たちが被災者支援に立ち上がりました。２ヶ月間でしたが、無事にボランティアが成就できるように、学生たちの見守り役を勤めました。また４月からは、農学部と工学部が協力して創った大学院生物システム応用科学研究科に所属し、最初の５年間勤めました。それ以来、何回も改組がありました。大学の組織は変わらないと思っていたので、いささかびっくりでした。研究面では、精密農業を立ち上げ、政策立案にも協力しました。いまではスマート農業と呼びます。課外活動といったら変ですが、オムニコートでテニスを楽しみ、多摩地区の大学間職員対抗にも参加させてもらいました。退職に当り、東京農工大学の自由闊達な発展を祈念します。

農学研究院教授　松田　浩珍

昭和56年大阪府立大学農学部獣医学科で研究教育の道をスタートさせ、２回の海外研究を経て、縁あって平成６年１月に東京農工大学に赴任しました。専門は獣医免疫・アレルギー学ですが、定年を迎えた平成31年３月までの38年間ひたすら研究を続けてきました。振り返ってみると、月並みではありますが光陰矢の如しといった心情がようやく理解できる年になりました。東京農工大学では約25年間勤め上げたことになりますが、赴任の際に自身にタスクを与え本学に何らかの貢献をしたいと勝手ながら考えておりました。それは、経験を生かした分野を超えた国際共同研究ネットワークの構築と本学で指導した学生が現役中に本学の教授として活躍することです。うれしいことに、

退職を前にして両タスクを達成することができました。これは、偏に獣医学科だけでなく、他学科の教員、さらに職員の方々のサポートのお陰と感謝しております。ここに改めてお礼申し上げます。

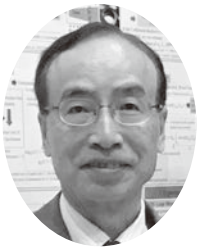
工学研究院教授　佐藤　容子

私は、昭和58年10月に本学に講師（農学部）として着任し、平成７年４月に改組により工学部に配置換えとなりまして、両学部の英語科目を35年６カ月にわたって担当して参りました。大学院の科目では、有名な英語のスピーチの分析を行い、多くの受講生と楽しい時間を過ごさせていただきました。着任当時、女性の教員は圧倒的に少なく、自身が恵まれた職場環境を与えていただいたことに深く感謝の念を抱きながら、教育と研究に携わる毎日でした。それは大変幸せなことであったと感じております。その間、理工系の学生さんたちのニーズを常に念頭におきつつ、英語カリキュラムの改革に取り組んで参りました。「英語科目共通資料」の作成や、レベル別リーダーのセットを図書館に常備する体制づくりなどはその一環です。ただ英語学習は授業の中で完結するものではなく、自分の興味や関心また必要性に応じて、生涯にわたり自分なりの学習法を継続していくことが何と言っても一番肝要と考えられ、私自身もそれを肝に命じて退職後を過ごしたいと思っております。新しい時代を迎え、本学と同窓会のさらなる発展を心よりお祈りいたします。

工学研究院教授　細見　正明

これまで多くの方々に支えられ、おかげさまで本年３月末をもちまして、東京農工大学を退職することができました。昭和52年１月に環境庁国立公害研究所に入所し、平成４年５月に本学工学部助教授として転任しました。その後平成９年９月から化学システム工学科環境バイオエンジニアリング分野の教授として、280余名の学生とともに様々な環境問題の解決に取組みました。民間企業との共同研究（PCBやダイオキシン類等の無害化技術等）や環境省をはじめ東京都など自治体の審議会等の委員として、ガイドラインや基準等の設定などに関わり、充実した教育研究生活を送ることができました。引き続き、福島第一原子力発電所事故由来の除染土壌や廃棄物の減容化や再生利用に対して、これまでの汚染土壌や地下水問題の経験を踏まえ、微力ながら貢献したいと考えています。本学の皆様への感謝とともに、益々発展されることを祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。

工学研究院教授　篠原　俊二郎



平成22年10月に、東京大学、九州大学を経て本学へ工学部教授として赴任しました。短い間でしたが、研究室員や学生にも恵まれ、学科、学部のスタッフのフレンドリーな雰囲気の中で、充実した研究・教育とその総括を送ることができました。心よりお礼申し上げます。

39年もの長い研究・教育人生において、広域プラズマ科学分野で、低温プラズマ物理学から高温プラズマ物理・核融合まで幅広い研究ができました。特に本学では、新しく提唱しましたヘリコン高密度プラズマを用いた先進プラズマ推進ロケット（長寿命で高効率）のプロジェク

ト研究を、科学研究費補助金などのサポートを受けながら、更に進展させました。学生とは「はやぶさを超える！」をモットーに、楽しく一緒に研究できた良い思い出となりました。

大学は元々新奇なものを興味を持って自由に行える場であります。しかし大学環境は種々の点で厳しくなりつつあります。時間との戦いもありますが、どうぞ体に気をつけながら、新組織で異分野共同研究などを意識されて、更なる発展をされるようお祈りいたします。

工学研究院教授　内藤　方夫

私が農工大に赴任してきたのは2004年２月１日で、自身の年齢が50歳まで後２ヶ月というタイミングでした。それまでは、ＮＴＴの研究所で基礎研究（研究テーマは新規超伝導体薄膜の分子線エピタキシー成長）をしていました。順調な研究生活でしたが、歳とともに「自分の研究が本当に世の中に役に立っているのか？」という疑念が頭をよぎるようになり、「教育」もしたいと考えるようになりました。そこで、日本の企業では「研究者としての定年」にあたる50歳で大学に転出することを決意しました。赴任直後装置も何もない状況の中、2004年４月には４人の学生が配属され、何はともあれ卒業研究をスタートしなくてはならない状況に立たされました。始めは研究予算も大学運営費のみで、大規模な実験を行うことは叶いませんでした。そこで、スピンコーティングで有機酸塩を塗布、その後焼成して薄膜を作製するという、同じ薄膜作製とは言え分子線エピタキシー成長とは180°違う方向に踏み出しました。幸いなことに、最初に私の研究室に入ってきた４人は、想像以上に丁寧に実験を進めてくれる学生で、学会発表どころか、これまでの定説を覆すような結果を出してくれました。今でも感謝しています。それとともに、貧しくとも一生懸命やっていれば「神様は見捨てないんだな」と勇気づけられたことを今でも覚えています。農工大に居た15年２ヶ月はあっという間でした。最初に思った「教育」をやりたいという情熱は、50名あまりの卒業生の多くが現在活躍をしているのを見ると、ある程度叶えられたのかなと思います。最後に、農工大のますますの発展をお祈り致します。

定年退職者のお知らせ

本学在職中に同窓会活動に多大なご協力を頂いた下記の先生方が、令和２年３月で定年を迎えられます。このことに伴い、それぞれの先生方の「定年退職祝賀会」が催されることと思います。祝賀会に参加希望される場合は、各先生方の研究室にお問い合わせください。

農学研究院　大里　耕司　助教
農学研究院　向後　雄二　教授
農学研究院　白井　淳資　教授
農学研究院　竹村　勇司　助教
農学研究院　土屋　俊幸　教授
農学研究院　藤井　義晴　教授
農学研究院　藤川　　浩　教授
工学研究院　中川　正樹　教授
工学研究院　涌井　伸二　教授

（五十音順：氏名掲載はご本人の了解を得ている方のみです）

平成30年度　同窓会学生援助事業報告

同窓会学生援助事業では、在学生（準会員）の学会発表、コンテスト・コンクールへの出場、優秀卒業論文、種々の課外活動、学園祭に対して「同窓会研究課外活動奨励賞」および副賞を授与しています。

この事業は、会員の皆様から納入いただいた同窓会費（終身会費・年会費）や入学時に納入いただいた入会金・賛助会費を元に支出しております。平成30年度の援助金総額は4,774,620円でした。ここにご報告させていただきますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後とも母校援助にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事　項	件　数	金　額
学会発表 ＜参加・出場＞	415名	2,075,000円
学会発表 ＜入賞＞	45名	225,000円
コンテスト・コンクール ＜出場＞	4名・26団体	280,000円
コンテスト・コンクール ＜入賞＞	2名・10団体	60,000円
学会誌・論文誌発表	1件	15,000円
優秀卒業論文	10学科	100,000円
課外活動 ＜学園祭＞	1件	100,000円
課外活動 ＜サークル活動＞	20件	1,000,000円
課外活動 ＜リーダーストレーニング＞	1件	50,000円
キャリアアドバイザー支援	2名	120,000円
卒業・修了証書カバー支給	1,660名	749,620円
合　計		4,774,620円

※詳細については、同窓会ホームページ（http://tuat-dousoukai.org/guide/student.html）をご覧ください

＝平成30年度「同窓会研究課外活動奨励賞」受賞者のコメント＝

農学府自然環境保全学専攻２年　栃木　香帆子さん

この度は、学生援助事業の奨励賞をいただき、さらにこの場をお借りしてコメントをする機会をいただき、誠にありがとうございます。このような名誉ある賞をいただき、大変光栄に思っております。

私は、日本哺乳類学会2018年度大会にて、ツキノワグマの歯に形成される年輪の幅に過去の繁殖の成功が反映されることを明らかにした、という内容で発表し、学生口頭発表優秀賞をいただきました。

このような賞を獲得できたのは、周囲の方々の支えやご指導、また同窓会の皆様のご援助があってこそだと思っております。今回の受賞およびご支援を励みにして、専門分野の発展に貢献できるよう、より一層精進して参りたいと思います。

工学府情報工学専攻２年　川田　涼平さん

この度、第９回国際自動交渉エージェント競技会（ANAC2018）の反復交渉リーグに、お互いの利益を大きくする交渉エージェントを作成して出場し、同リーグの社会的余剰部門で３位入賞いたしました。競技会参加の際に、同窓会からご支援をいただき深く感謝しております。また、私の一連の研究活動および研究成果について高い評価をいただき、このような感謝の意を述べる機会をいただいたことを大変光栄に思います。

同窓会の援助事業は、研究に打ち込む上で大きな励みとなりました。今後とも研究に精力的に取り組み、いただいたご支援や評価に恥じぬよう、精進してまいります。この度は本当にありがとうございました。

お知らせ

後期申請受付は2019年12月18日～2020年１月16日です。

援助対象者　本学に在籍中の学部学生または大学院学生で下記の１または２に該当する者

１.入学時に保護者が賛助会費を納入している者（保護者が賛助会員）

２.終身会費または年会費を納入している者（本人が正会員）

会費を納入している者とは申請受付前（12/17）までに会費を納入済の方です。

会員種別については、住所ラベルに「賛助会員」「正会員」等、記載されております。申請時にはご確認ください。

部会・支部・クラス会だより

部会・支部・同好会・クラス会だよりの最新情報は、同窓会ホームページに随時掲載していますので、ぜひご覧下さい。

部会だより

MOT部会

日　　時　平成30年４月21日（土）
開 催 場 所　田町CICキャンパスイノベーションセンター
参 加 人 数　15名
実 施 事 項　基調講演：田中貴金属工業（株）取締役専務執行役員
　　PGMカンパニープレジデント山本俊哉
　　講演内容：『実は我々の身近に多数の貴金属材料が使われている』
　　活動報告：決算報告及び活動報告
幹事・報告者　加藤　美治（MOT H21）

＜幹事のコメント＞

基調講演では、山本氏がこれまで関わってこられた開発の中で特にハードディスクのディスク開発におけるお話をして頂いた。新技術でもある垂直磁気記録への挑戦でもあり、開発を通して新製品開発を成功させる要因、成功するリーダの要件、マネジメントについて自らのご経験と考察をもってお話し頂いた。まさに、これまで現場で感じてこられたことであり、経営者となった今でも解を求めておられるということであった。企業理念にも通じるものであり、田中貴金属の会社の原点を見ることができた気がする。

総会後の懇親会においても、多くの皆様に参加頂いた。

農学・生物生産学部会

日　　時　平成30年４月28日（土）
開 催 場 所　農学部２号館、展示ホール
本 部 派 遣　鈴木　創三　先生
参 加 人 数　23名
実 施 事 項　総会・講演会・展示会
幹事・報告者　大川　泰一郎（農S62）

＜幹事のコメント＞

（1）総会：板橋部会長挨拶後、鈴木理事より同窓会法人化の説明があり、法人化案が承認された。平成28･29年度の収支決算・監査の報告、承認に続き平成30年度より内藤廣信新部会長への交代が承認された。

（2）講演会：堀越英雄氏（農S33）の「植物画の魅力」が講演された。講演会に引き続き、国際賞を受賞されたニンジンなど堀越氏の15作品の展示会が開催された。

（3）懇親会：記念写真撮影後、板橋部会長の乾杯に始まり、終始和やかに会員諸氏が懇談され、来賓の梶井元学長・名誉顧問のお話の後、同窓生一人ずつ挨拶し、お開きとなった。

獣医学部会

日　　時　平成30年７月７日（土）
開 催 場 所　農学部２号館２階21番教室
参 加 人 数　50名
実 施 事 項　1．幹事会2．総会3．研究講演会　1）臼井達哉先生　共同獣医学科獣医薬理学・特任講師「三次元培養法を用いたがん制御機構の解明」2）池田一樹先生（獣医S56）農林水産省　消費・安全局長「薬剤耐性対策について（家畜での薬剤耐性率の低減対策とワンヘルス）」3）木島まゆみ先生（獣医S58）薬品検査所 総括上席研究官「薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン（2016-2020）における取組み-動物由来薬剤耐性菌モニタリング（JVARM）を中心に-」
幹事・報告者　渡辺　元（獣医S54）

＜幹事のコメント＞

今回の研究講演会では、本学卒業生としてはじめての農林水産省局長となった池田一樹氏と、同じく農林水産省の研究官として活躍している木島まゆみ氏に講演していただいた。近年国家公務員を希望する学生が減少しているが、今回の講演には在校生も多く参加し、終了後の懇親会でも質問をしていた。学生に卒業後の進路に関する情報を提供する場として、とても有効な機会となることから今後も続けてゆきたい。

蚕糸生物学部会

日　　時　平成30年10月13日（土）
開 催 場 所　東京農工大学　50周年記念ホール
本 部 派 遣　千年　篤　先生
参 加 人 数　98名
実 施 事 項　部会の総会の開催（部会の活動及び会計報告、並びに会員間の懇親）
幹事・報告者　安藤　俊幸（蚕糸S49）

＜幹事のコメント＞

「またお会いしましょう」と別れたのは、平成27年10月。それから３年後、蚕糸生物学部会の総会を開催いたしました。会場の50周年記念ホールは、98名の参加者で一杯となり、盛大な会合となりました。総会後、来賓として千年同窓会副理事長から大学や同窓会をめぐる状況についての報告をいただきました。

黄色名誉教授の乾杯の発声の後、会員の懇談、昔話に花が咲き、予定の時間は、あっという間にすぎていきました。

総会終了間際、本間慎名誉教授から「次回はいつやるの？」との発言に、みなさん「また、３年後にお会いしましょう」と次回の日程を決め、お開きとなりました。

農芸化学・応用生命化学部会

日　　時　平成30年12月１日（土）
開 催 場 所　ＫＫＲホテル東京
本 部 派 遣　野村　義宏　先生
参 加 人 数　62名
実 施 事 項　総会での報告、審議事項
法人化新体制の紹介、部会会員に関する報告、学内の会計・監査報告、学内動静の報告、来年度の部会役員の紹介、他
その後、懇親会
幹事・報告者　西河　淳（農学研究院教授）

＜幹事のコメント＞
上は87歳から現役の修士学生まで幅広い年齢層から62名もの同窓生、教員にお集まりいただき、会はとても盛況であった。また、懇親会の進行では、部会長自ら進行役を務めて頂き、ほぼ全員にマイクをまわし近況等ひと言ご発言頂けたことは、年齢の差をなくし、同窓生としての相互理解が深まったと思われ、幹事としてお集まり頂いた皆さんに感謝しております。

林学部会

日　　時　平成30年12月８日（土）
開 催 場 所　農学部２号館多目的教室
参 加 人 数　20名
実 施 事 項　総会、特別講演会：演題「ドイツの森と人のかかわり、持続性理念の発展」
講師　山縣 光晶（林S47）文学博士　ドイツ環境政策研究所所長・林業経済研究所フェロー研究員、懇親会：生協２階オリザにて
幹事・報告者　戸田　浩人（林S59）

＜幹事のコメント＞
開会の辞にひきつづき、本山芳浩（林S48）部会長のご挨拶があった。恒例により部会長を議長とし、活動報告、会計・監査報告、新役員の選出（案）、同窓会法人化における林学部会の対応について、次期活動計画（案）、その他（同窓会本会からの八王子分収林についての協議など）が議事として審議された。総会後に、山縣光晶（林S47）文学博士より、上記の特別講演を公開で実施いただき、現役学生も聴講におとずれていた。

支部だより

北海道支部

日　　時　平成30年10月20日（土）
開 催 場 所　ネストホテル札幌駅前
本 部 派 遣　馬場　眞知子　先生
参 加 人 数　17名
実 施 事 項　総会、母校の現状、ミニ講演会、懇親会
幹事・報告者　伊藤　隆之（農工S62）

＜幹事のコメント＞
総会では、事業報告や次年度の計画案等が了承された後、来賓の馬場名誉教授から、学部の変遷も含めた母校の現状や「マングローブとは何か」をテーマに、マングローブの生態など、ユーモアたっぷりにご講演いただきました。
懇親会では、自己紹介・近況報告で大いに盛り上がり、時間が足りないほどでしたが、最後は学歌や寮歌を熱唱し、終始賑やかな会となりました。

岩手県支部

日　　時　平成30年５月12日（土）
開 催 場 所　エスポワールいわて
本 部 派 遣　鈴木　創三　先生
参 加 人 数　18名
実 施 事 項　１．支部臨時総会
２．研修会
幹事・報告者　藤原　哲雄（農S60）

＜幹事のコメント＞
平成28年以来、２年ぶりの支部の集いを開催しました。支部総会に併せて開催した研修会では、鈴木創三先生より「同窓会の法人化と変更点」、本県の課題でもある「カリウム/セシウムと根圏土壌のバーミキュライト」について講演頂きました。例年、出席者には昭和卒の会員が多い中、平成卒の会員の参加も少しずつ増えています。今回、事務局のメンバーも若手会員に交代したので、今後、若手参加者がさらに増え、支部活動が活性化することが期待されます。

宮城県支部

日　　時　平成30年７月14日（土）
開 催 場 所　ホテル白萩
本 部 派 遣　戸田　浩人　先生
参 加 人 数　28名
実 施 事 項　支部総会、派遣理事による講演会、懇親会
幹事・報告者　大類　清和（林H2）

＜幹事のコメント＞
昨年度に引き続き、会員のお子様も参加して支部総会を開催しました。議事終了後、支部推薦の代議員候補者について事務局から報告するとともに、戸田浩人先生より、大学の近況と「森林に降下した放射性物質の行方と里山利用の復活」と題し、講演をいただきました。宮城県では東日本大震災後、既に復旧・復興を遂げている分野もありますが、福島第一原子力発電所事故による放射性物質の影響は、きのこ・山菜等の森林に係る分野では依然収まる状況に無く、先生の講演で本県の復旧・復興に向けて気持ちを新たにすることができました。

福島県支部

日　　時　平成30年７月７日（土）
開催場所　ホテル福島「グリーンパレス」
本部派遣　野口　恵一　先生
参加人数　28名
実施事項　議事内容：平成29年度支部活動及び収支決算、平成30年度支部活動計画及び予算案、役員改選
講演・討論会等：大学の近況について、懇親会
幹事・報告者　阿部　正久（林H5）

＜幹事のコメント＞
議事に入る前、これまでに事務局に連絡があった３名の物故者が報告され、黙祷によりご冥福をお祈りしました。
総会終了後は、恒例の懇親会を開催しました。小松恭雄氏（林S29）の乾杯後、野口准教授から母校の近況等についてご紹介をいただきました。また、目黒友氏（蚕糸S53）による歌の余興もあり、大いに盛り上がりました。さらに、大学校歌を参加者が一緒に熱唱するなど、和やかな雰囲気で会が進行し、最後は渡部正明氏（環保S55）の閉会の辞ののち、来年の再会を胸に誓いつつ散会しました。

栃木県支部

日　　時　平成30年12月２日（日）
開催場所　ホテルマイステイズ宇都宮
本部派遣　亀山　秀雄　先生
参加人数　24名
実施事項　総会、懇親会
幹事・報告者　南木　好樹（農工S58）

＜幹事のコメント＞
総会には、本部から亀山秀雄広報・情報部長に御出席頂き、ご挨拶とともに、農工大の活躍や同窓会の近況等について御講演頂きました。また、御多忙のなか、支部顧問であります西川公也内閣官房参与（第56・57代農林水産大臣）にも御臨席を賜り、ご挨拶とともに国政の状況等についてお話を頂きました。今回は小林泰之さん（環資H27）、菅家義明さん（環資H29）が初参加。若い世代の元気も加わり、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

群馬県支部

日　　時　平成30年11月４日（日）
開催場所　「ラシーネ新前橋」
本部派遣　野口　恵一　先生
参加人数　30名
実施事項　事業報告及び計画、野口准教授より本学の近況紹介
幹事・報告者　影澤　圭太（林産H3）

＜幹事のコメント＞
総会並びに懇親会で構成し、本学同窓会から野口准教授を招き、本学の現状等を紹介して頂きました。昭和18年農学卒の登坂先輩を筆頭に、多くの同窓生に参加いただき、また、若手の会員の参加も増加しており盛会に開催することが出来ました。来年度は更に規模を拡大し、小野支部長を中心に会を盛り上げて参りたいと思います。

埼玉県支部

日　　時　平成30年９月16日（日）
開催場所　パイオランドホテル
本部派遣　赤井　伸行　先生
参加人数　28名
実施事項　平成30年度総会及び懇親会
幹事・報告者　竹詰　一（農H2）

＜幹事のコメント＞
総会では、平成29年度事業報告並びに決算報告、平成30年度事業計画並びに予算案について審議され承認されました。
総会終了後の懇親会では、赤井先生から大学の近況を詳しく御説明いただきました。また、若い会員の参加者を増やすためにどのような会にすればよいのか議論するとともに、懐かしい学生生活の話に盛り上がり楽しい時間を過ごしました。

千葉県支部

日　　時　平成30年11月17日（土）
開催場所　CHIBA SKY WINDOWS 東天紅
講師名　田谷　一善　先生
参加人数　67名
実施事項　平成28・29年度事業活動報告及び会計報告、平成30・31年度事業活動方針及び予算（案）の検討、役員の改正、田谷一善先生による講演、懇親会
幹事・報告者　津金　胤昭（応生H6）

＜幹事のコメント＞
千葉県支部では、２年ぶりの支部総会を千葉市内で開催しました。田谷一善名誉教授、岡山隆之副学長、吉武宏晃広報・基金室長にもご臨席いただき、67名が参加する盛大な総会となりました。田谷先生からは、「東京農工大学の現状と未来」と題して大学設立に関するエピソードから現在活躍する卒業生まで幅広くご紹介いただき、出席者は熱心に聞き入っておりました。その後の懇親会でも楽しい時間を過ごし、最後に学歌を斉唱して閉会しました。

東京都支部

日　　時　平成30年６月23日（土）
開 催 場 所　東京農工大学農学部内 動物医療センター
参 加 人 数　総会６名、講演会54名（研究会調べ）
実 施 事 項　総会、講演会（第２回イノベーション研究会：小動物医療の現状と将来の展望を語る）と動物医療センター見学。主催：農工大同窓会イノベーション研究会、協力：同窓会東京都支部
幹事・報告者　渡辺　彰（農工S43）

＜幹事のコメント＞
総会では、馬場信行支部長（林S35）より役員変更予定（連絡員、来年度の代議員変更及び支部長改選）の提案があり、了承されました。第２回イノベーション研究会の講演の後、CTスキャンやMRIなどの設備が整えられ、最先端医療が行われている動物医療センターを見学しました。東京都支部では、「けやきクラブ（開催：毎月第３火曜日、新宿駅東中央口ライオンビル）」にて、定期会合が行われています。

神奈川県支部

日　　時　平成30年12月１日（土）
開 催 場 所　ワークピア横浜
本 部 派 遣　赤井　伸行　先生
参 加 人 数　30名
実 施 事 項　総会、特別講演会及び懇親会
幹事・報告者　髙橋　恭一（蚕糸S62）

＜幹事のコメント＞
今年も横浜市で総会を開催しました。今回は本学卒業生でJRA調教師の小檜山悟氏の特別講演を企画しました。
総会では29年度決算、30年度予算、新役員が承認されました。
引き続き赤井先生から大学の近況等、説明をしていただきました。
小檜山氏の講演は、馬術部での活動など学生時代の思い出や、ゴリラ愛好家であることからアフリカの話、横綱稀勢の里のことなど、幅広い内容でした。懇親会では、先輩方から校歌、西ヶ原、駒場寮歌が披露され、大いに盛り上がっている中での散会となりました。

新潟県支部

日　　時　平成30年６月９日（土）
開 催 場 所　鳥忠本店
本 部 派 遣　千年　篤　先生
参 加 人 数　21名
実 施 事 項　支部総会
幹事・報告者　高橋　紀男（農工S60）

＜幹事のコメント＞
新たな任期となる役員の選任の他、議事は原案どおり承認され、総会を無事終えました。
来賓として迎えた本部の千年副理事長から、大学の近況と先生が取り組む研究の一端の紹介をいただきました。
その後行われた懇親会では、世代を越え母校での想い出などに花を咲かせ、駒場寮歌で締めくくるまで大いに盛り上がりました。

富山県支部

日　　時　平成31年３月９日（土）
開 催 場 所　しゅん家
本 部 派 遣　滝山　博志　先生
参 加 人 数　12名
実 施 事 項　総会及び親睦会
幹事・報告者　飯野　師（地生H18）

＜幹事のコメント＞
総会後、滝山理事長から東京農工大学が企業からのイメージが大変良いこと、そして大学院の農学府が１専攻に、工学府が新６学科になることをご説明いただいたほか、農工大学という名前を体現する農学と工学が繋がる卓越大学院プログラムに採択決定したとのことで、益々農工大学の今後が楽しみになるお話を伺い、卒業生として誇らしく、そして今後の農工大学と後輩たちの活躍に胸が躍る気持ちでした。
懇親会でも、互いの近況を含めた多種多様な話題で大変盛り上がった懇談となりました。
特に今年は、参加者の中に滝山先生の授業に出ていた若い世代もおり、当時の思い出話にも花が咲き、懐かしさを感じる雰囲気が懇親をより深めてくれました。これからも幅広い世代からの参加していただけるよう工夫してまいります。

石川県支部

日　　時　平成31年３月１日（金）
開 催 場 所　金沢市昭和町11-1
参 加 人 数　10名
実 施 事 項　総会及び親睦会
幹事・報告者　西山　宏（林H6）

＜幹事のコメント＞
当日は、昭和46年から平成６年卒までの10名の参加者が、大学の様子の紹介やそれぞれの近況の報告、今後の活動内容について意見を交わし、懇親を深めました。今年は昨年開設したフェイスブックを紹介し、その場で登録を受け付けるとともに、今後、幅広く同窓生に呼びかけ、親睦の和を広げていくことを皆で誓い閉会となりました。

福井県支部

日　　時　平成31年３月９日（土）
開 催 場 所　二ノ丸グリル
本 部 派 遣　鈴木　創三　先生
参 加 人 数　16名
実 施 事 項　支部総会、法人化について、懇親会
幹事・報告者　新海　隆介（環・資H12）

＜幹事のコメント＞
福井県支部同窓会は、久し振りの開催にもかかわらず16名のご参加をいただきました。
今回は、同窓会法人化委員会の委員長であった鈴木先生にもお越しいただき盛会となりました。下は20代から上は80代まで幅広い支部会員の参加となりましたが、同窓の間柄か、すぐに打ち解けて楽しい懇親会となりました。写真のとおりです。今後とも親交を深めていきたいと思います。

岐阜県支部

日　　時　平成30年６月24日（日）
開 催 場 所　岐阜ワシントンホテルプラザ
本 部 派 遣　鈴木　創三　先生
参 加 人 数　16名
実 施 事 項　事業報告、会計報告、役員改選、懇談会
幹事・報告者　雨宮　功治（植防S60）

＜幹事のコメント＞

今回は20代の会員も３名が参加し、大幅に平均年齢を引き下げた。

新支部長に工藤正弘氏（繊工S44）が選出されるとともに、長年支部長及び副支部長などを務め、岐阜県支部の発展に尽力された安田勝年氏（製糸S42）には、同窓会本部からの感謝状が鈴木名誉教授から手渡された。また、鈴木名誉教授からは現在の大学の状況をユーモアを交え紹介があり、母校の近況を興味深く拝聴した。

交流会では、参加者の自己紹介を皮切りに、多種多様な年齢・学科・職業の会員が相互に交流し親交を深めた。交流会の最後には、鈴木名誉教授と農工大グリークラブOBでもある河村尚徳氏（養蚕S42）が東京農工大学学歌を披露し幕を閉じた。

静岡県支部

日　　時　平成31年３月２日（土）
開 催 場 所　クーポール会館
本 部 派 遣　池谷　紀夫　事務局長
参 加 人 数　42名
実 施 事 項　1．会長挨拶　2．本部理事の紹介　3．2018年事業報告　4．2019年事業計画　5．役員の改選
6．本部理事による大学近況報告
7．講演会「静岡県が推進するAOIプロジェクトの取り組み～AOI・PARCでの活動を中心に～」（講師：大石直記）
8．記念撮影　9．懇親会
幹事・報告者　土屋　雄人（応生H20）

＜幹事のコメント＞

総会当日は、池谷同窓会事務局長にご出席いただき盛大に開催されました。講演会では、県支部同窓会会員の大石直記氏（農S60）から、静岡県の研究施設「AOI・PARC」における最新の研究動向を中心にご講演をいただきました。懇親会では、卒寿を迎えられた鈴木勇次郎氏（農土S26）がその元気なお姿をお見せくださり、世代を越えて楽しむ会となりました。

また、会長の栗原績氏（農工S42）が同窓会本部の会長に推薦されたことを受け、杉山嘉英氏（林S52）が新会長に選出されました。

愛知県支部

日　　時　平成30年11月17日（土）
開 催 場 所　中華料理「百楽」
本 部 派 遣　赤井　伸行　先生
参 加 人 数　25名
実 施 事 項　総会・懇親会
幹事・報告者　水野　銈一郎（農S42）

＜幹事のコメント＞

隔年に実施している支部総会、今回は農学部、工学部出身がほぼ半数ずつ、昭和33年卒から平成24年卒までの方々が参加されました。支部会員約700名の方に往復はがきで総会開催の通知をしました。欠席と返事を頂いた方は約300名近くで、あて先不明や転居で戻った方が数名で、残りの400名ほどの方は音信不通でした。

これも、平成年代出身の方が70%弱を占める現在は、はがきによる返信よりもメールでの返信が得意であるという時代の流れもあるかと支部の事務局は痛感しています。

今後はメール送信による総会案内をするよう準備をしていきたいが、もちろん、メール送信でない方々には今まで通り、懐かしい往復はがきによるご案内を今後も継続してまいります。

三重県支部

日　　時　平成30年９月９日（日）
開 催 場 所　新玉亭
本 部 派 遣　亀山　秀雄　先生
参 加 人 数　14名
実 施 事 項　支部役員改選、会計報告、農工通信執筆者選定
同窓会本部の法人化についての説明と大学の近況報告
幹事・報告者　西野　実（生産H7）

＜幹事のコメント＞

同窓会本部から亀山秀雄先生を迎え、同窓会の法人化や大学の近況について報告いただきました。参加人数は14名と多くはなかったのですが、亀山先生がいらっしゃったことで、先生と同じく化学工学科出身の支部会員の方々に久しぶりに出席していただきました。本年は若手、女性の参加も少なかったので、来年度は若手、女性の支部会員の参加を期待したいと思っています。

京都府支部

日　　時　平成30年９月８日（土）
開 催 場 所　京都・鴨川河畔　竹島（納涼床）
本 部 派 遣　池谷　紀夫　事務局長
参 加 人 数　15名
実 施 事 項　1．総　会
2．交流会
幹事・報告者　西村　寿（農工S50）、松井　崇（農工S51）

＜幹事のコメント＞

総会では西村支部長のあいさつに続いて来賓の池谷事務局長からご祝辞と同窓会法人化の概要の説明をいただき、会計報告を承認しました。

今年は２名の会員が初めての参加でしたが、常連の参加者とすぐに打ち解け、府中・小金井の両キャンパスの変貌ぶりに話題が尽きず、また、同窓の谷内暲さん（繊化S28）から提供戴いた大学の輝かしい躍進の記事（日経H30.6.6）を紹介し、懐かしく楽しい同窓会となりました。この日は台風21号通過後の秋雨前線のいたずらで開会直前にポツリポツリとしていた雨も上がり、鴨川納涼床を満喫することができました。

滋賀県支部

日　　時　平成30年12月９日（日）
開催場所　ホテルボストンプラザ草津
本部派遣　渡辺　元　先生
参加人数　26名
実施事項　総会・特別講演・懇親会
幹事・報告者　川島　長治（農S39）・鈴木　一成（地生H25）

＜幹事のコメント＞
法人化に対応するため当初９月30日に開催予定であったが、台風が来ることが予想されたので、12月９日の開催となった。出席者は９月時点より３名増加して盛会となった。
渡辺先生の特別講演では、農工大の近況について、最新のデータや研究内容を交えてお話しいただき、いま農工大が期待されていることを、出席者の皆様が深く実感できたのではないかと思います。
また懇親会では、近況報告から懐かしい昔話まで話が尽きず、恒例となっている学歌・寮歌の合唱では、グリークラブ顧問の渡辺先生の発声にあわせて皆で大いに盛り上がりました。

奈良県支部

日　　時　平成30年９月１日（土）
開催場所　梁山泊・本館
本部派遣　亀山　秀雄　先生
参加人数　９名
実施事項　・同窓会の一般社団法人化への移行や近況報告
・支部推薦代議員候補者の決定、支部役員改選
・懇親会
幹事・報告者　望月　昇（化工S57）

＜幹事のコメント＞
総会では太田道明支部長（農工S42）の挨拶の後、来賓の亀山秀雄名誉教授から、同窓会の一般社団法人化への移行や、農工大の研究・教育課程等の最新の状況をご報告いただきました。
また、支部役員の改選及び支部推進代議員候補者について諮り、山本治幸新支部長（電気S54）、宮本大輔新代議員（農H2）を候補者として推薦することで決定しました。
その後の懇親会では、自己紹介やそれぞれの近況報告などで盛り上がるとともに、今後の支部活動などについて、大いに語らいました。

兵庫県支部

日　　時　平成30年７月14日（土）
開催場所　東天紅
本部派遣　村上　尚　先生
参加人数　16名
実施事項　１．総会・支部長挨拶・派遣理事による農工大近況報告・会計報告・平成30年度兵庫県支部運営体制報告
２．懇親会
幹事・報告者　安徳　剛志（林S59）

＜幹事のコメント＞
総会では、派遣理事の農工大近況報告に出席の方々は熱心に聞き入っていらっしゃいました。
出席者は、最年長者が昭和30年御卒業、最年少は平成11年御卒業と幅広い年齢層で、懇親会も和やかに執り行われました。

岡山県支部

日　　時　平成30年８月25日（土）
開催場所　ピュアリティまきび
本部派遣　渡辺　元　先生
参加人数　20名（うち会員16名）
実施事項　総会議事、講演会等
幹事・報告者　谷　智仁（林S61）

＜幹事のコメント＞
講演会では、獣医学科岡田十九郎元教授の御子息である岡田悠一氏をお迎えし「岡十と農工大と岡山県」というテーマでお話いただき、当時の駒場キャンパスでの話や岡田十九郎元教授が岡山県とご縁があったことなどを伺いました。次に、渡辺 元先生から母校の近況等のご説明を受けました。懇親会では参加者相互の近況交換等行うとともに、岡田十九郎元教授から指導を受けた会員もいたことから、一層盛り上がり楽しい一時を過ごすことができました。
岡山県支部の皆様、令和元年度総会は８月24日（土）で計画を進めております。皆様方のご参加を心からお待ちしております。

広島県支部

日　　時　平成31年２月17日（日）
開催場所　メルパルク広島
本部派遣　渡辺　元　先生
参加人数　33名（広島県支部27名、愛媛県支部２名、岡山県支部１名、来賓３名）
実施事項　支部総会（活動報告・会計報告）懇親会（自己紹介・理事講演・歓談）
幹事・報告者　石田　一之（機械S59）

＜幹事のコメント＞
総会では、三宅支部長から来賓及び近県参加者に対してのお礼、西日本豪雨災害での支部会員の被災情報、同窓会法人化説明等を挨拶頂きました。
次に、梅田副学長から農工大の近況報告を講演頂き、参加者は皆とても誇らしい気持ちになりました。懇親会では、最初に全員で握手を行いました。渡辺先生にはチョット難しいお話を短時間で講演して頂き、メインイベントの出席者全員の近況報告に時間を割きました。最後は、「広島県支部の発展と参加者の健康を祈念して」一本締めを行い、楽しい同窓会を終了しました。来年は参加者40名を目標に交流の輪を拡げます。

山口県支部

日　　時　平成30年７月22日（日）
開催場所　菜香亭
本部派遣　滝山　博志　先生
参加人数　８名
実施事項　派遣理事によるミニ講演会、支部総会、懇親会
幹事・報告者　岡本　賢一（植防H4）

＜幹事のコメント＞
　滝山先生によるミニ講演会では支部からのリクエストで、中央教育審議会が文部科学相に答申する「2040年の大学のあり方」の大学側としての考え方について説明していただきました。
　続いて、大学の近況や同窓会の法人化について、さらに「塩作りと医薬品結晶製造の意外な接点」と題して、塩を題材に結晶についてわかりやすく説明していただきました。塩の水溶液を冷却するとどうなるか、先発薬と後発薬の違いについての説明は、特に印象に残りました。
　老若男女を問わず楽しめるのが当支部です。山口県出身者・在住者の積極的な参加をお待ちしています。

鳥取県支部

日　　時　平成30年11月23日（金）
開 催 場 所　水明荘
本 部 派 遣　富永　洋一　先生
参 加 人 数　８名
実 施 事 項　・平成29年度 事業報告、会計報告について
　　・鳥取県支部同窓会会則（案）について
　　・平成30年度 事業計画（案）について
　　・報告：東京農工大学と同窓会の近況について
幹事・報告者　門脇　亙（製糸S54）

＜幹事のコメント＞
　総会では出席者をできるだけ増やすための方策など有意義な意見交換ができました。
　懇親会では、富永洋一先生から「東京農工大学と同窓会の近況について」府中、小金井キャンパスの様子など詳しくお話しいただきました。さらに、出席者からの学生当時の話や近況報告など、少人数ながら大変盛況な会となりました。
　これからも鳥取県在住の会員確認を行うとともに、若い世代の出席も促しつつ、より多くの会員に出席いただけるよう充実した楽しい支部にしたいと考えています。

島根県支部

日　　時　平成30年12月８日（土）
開 催 場 所　日本料理　匠
参 加 人 数　13名
実 施 事 項　総会・懇親会
幹事・報告者　松浦　史瑞（林産H1）

＜幹事のコメント＞
　島根県支部総会は、長らく県東部の松江市で開催してきましたが、今回は、東西に長い島根県で会員が参加しやすいよう、久々に県中央部での開催を企画し、世界遺産「石見銀山遺跡」や国立公園の三瓶山を有し、2020年に全国植樹祭が開催される大田市で開催しました。
　その甲斐あってか、初参加の方４名の出席を得て、新鮮な会合となりました。20代から80代までの先輩後輩が夜遅くまで語り合いおおいに盛り上がりました。

香川県支部

日　　時　平成30年10月20日（土）
開 催 場 所　リーガホテルゼスト高松
参 加 人 数　８名
本 部 派 遣　野口　恵一　先生
実 施 事 項　①　協議　平成29年度支部活動報告　役員改選
　　②　交歓会
幹事・報告者　岡崎　進（獣医S38）

＜幹事のコメント＞
　野口先生より大学の現状や各々研究室の取組みや、また先生の現役時代のお話に一同大いに盛り上がり楽しい会になりました。

徳島県支部

日　　時　平成30年９月15日（土）
開 催 場 所　徳島市元町　中国料理「桃李」
派遣理事名　富永　洋一　先生
参 加 人 数　７名
実 施 事 項　(1) 収支報告
　　(2) 代議員候補の推薦について
　　(3) 懇親会
幹事・報告者　支部連絡員　小杉　純一郎（林S63）

＜幹事のコメント＞
　平成30年９月15日に平成30年度徳島県支部総会を開催しました。
　同窓会本部からは工学研究院の富永洋一教授にお越しいただきました。
　ちょうどインターンシップで来県中の現役の農工大生にも参加していただき、最近の大学の様子などで、たいへん話が弾みました。

高知県支部

日　　時　平成30年９月８日（土）
開 催 場 所　高知城ホール
本 部 派 遣　野村　義宏　先生
参 加 人 数　８名
実 施 事 項　・支部総会
　　・同窓会の法人化についての説明
　　・大学の近況について
　　・懇親会
幹事・報告者　豊田　陽一（蚕糸S57）

＜幹事のコメント＞
支部総会に入る前に、初めて参加いただいた方もおられたので自己紹介から始まりましたが、寮の話などで総会に入る前にすっかり盛り上がりました。
総会のあとは、野村先生から同窓会の一般法人化の説明をしていただき、あわせて大学の近況等についてお話していただきました。
そのあとの懇親会では、自己紹介の流れの続きで楽しい会となりました。

愛媛県支部

日　　時　平成30年９月８日（土）
開催場所　伊予鉄会館
本部派遣　渡辺　元　先生
参加人数　14名
実施事項　・支部運営報告
・支部会計及び監査報告
・役員改選
・講演：えひめの柑橘について（池上副支部長）
・講演：野生動物へのワクチン接種について
（渡辺元　教授）
幹事・報告者　尾中　直道（環・資H7）

＜幹事のコメント＞
役員改選を行い、引き続き鈴木支部長のもとで愛媛県支部を運営していくこととなった。
総会及び懇親会の参加者は少なかったが、仕事上の繋がりで同窓生ということが分かり、初参加してくれた人もいた。また、連続で参加してくれる若手の方もおり、引き続き参加してくる雰囲気づくりの必要性を感じた。
また、身近な話題での講演が好評であり、今後も継続することとなりそうである。

福岡県支部

日　　時　平成30年11月17日（土）
開催場所　平和楼　天神本店
本部派遣　村上　尚　先生
参加人数　19名
実施事項　支部総会議事（収支報告、役員改選）
講話、懇親会
幹事・報告者　白石　哲広（林産S50）

＜幹事のコメント＞
本部から村上尚先生をお迎えして、92歳になられる中野先輩（養実S23）を筆頭に会員20名の参加により支部総会を開催しました。西田晴二支部長（獣医S41）の挨拶で始まった総会は、全ての議事が承認された後、村上先生による講話「大学の現況報告と村上研究室のご紹介」をして頂きました。研究成果について母校を誇りに思うと話す会員もおられました。
今回の役員改選で、幹事（連絡員）を平島亮介氏（生産H13）に交代しました。意欲あふれる若い幹事を得て、今後の活発な支部活動に期待しています。

熊本県支部

日　　時　平成30年６月16日（土）
開催場所　熊本ホテルキャッスル
本部派遣　池谷　紀夫　事務局長
参加人数　29名
実施事項　同窓会本部第55回通常総会の概要報告
平成29年度熊本県支部会計報告
熊本県支部会員の動きについて
幹事・報告者　永山　裕治（環保H1）

＜幹事のコメント＞
池谷事務局長より、農工大の近況を詳しく紹介していただき、会員皆懐かしい大学の話題に加えて、新しい情報に触れることができました。
出席者29名と多数の会員が出席され、盛況な総会、懇親会となりました。特に、支部会員の掘り起こし策として昨年度から行っている県内在住会員宛ての総会案内ハガキ送付により、新たに６名が参加されました。新規会員からは、参加できてよかったとの声が聞かれました。また、本年度は多くの会員が二次会へと繰り出すなど、たいへん盛り上がったようです。来年もまた多くの支部会員が元気に出席いただけることを祈念しています。

大分県支部

日　　時　平成30年９月29日（土）
開催場所　ホテルクドウ大分
参加人数　14名
実施事項　総会及び懇親会
幹事・報告者　古長　茂亜（林産S63）

＜幹事のコメント＞
当日は初めての試みとして、総会前に支部会員の方が経営されている農場を見学することにしていましたが、台風接近のため前日に中止を決定し、総会及び懇親会という通常行事のみとなりました。出席者は自己紹介が必要ない程いつもと同じメンバーで、終始和やかな雰囲気で盛会となりました。
総会資料の表紙には農工大関連の話題を掲載していて、今回は府中キャンパスがＴＶドラマで最近よく使われていることを説明させていただきました。

宮崎県支部

日　　時　平成30年９月29日（土）
開催場所　都城グリーンホテル
本部派遣　富永　洋一　先生
参加人数　18名
実施事項　支部長選出
平成29年度実績及び会計報告について
平成30年度計画及び収支予算案について
幹事・報告者　井之上　英行（農工H4）

＜幹事のコメント＞
総会の前に都城市で会員の職場見学を２件行い、会員の活躍に一同感心いたしました。総会では「支部長選出」「平成29年度実績及び会計報告案」「平成30年度計画及び収支予算案」が承認されました。
また、工学部の富永先生にお越しいただいて同窓会や大学の近況等について貴重なお話をしていただきました。会員は大変興味深くお話を聴かせていただきました。その後は、会員近況報告等で大変盛り上がった同窓会となりました。

鹿児島県支部

日　　時　平成30年11月17日（土）
開催場所　寿庵
本部派遣　池谷　紀夫　事務局長
参加人数　16名
実施事項　①協議
平成29年度事業報告及び収支決算報告について
平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
支部活動の検討（支部慶弔規定、レクレーションについて）
②交流会
幹事・報告者　平　繁人（養蚕S45）

＜幹事のコメント＞
今年は新会員１名の参加も含め15名（うち女性２名）の参加がありました。
総会の中で、池谷事務局長より母校や同窓会の近況について紹介して戴き、進化しつつある母校・同窓会組織を垣間見ることができました。今後、ますます支部会員の絆が深まることでしょう。交流会では、老若男女が熱く語らい、次年度の再会を誓って散会となりました。

横浜会

日　　時　平成30年７月７日（土）
開催場所　華正棲本店
参加人数　８名
実施事項　平成30年度横浜会総会
幹事・報告者　松島　稔（製糸S37）

＜幹事のコメント＞
当日児玉会長以下８名が定刻に参集総会開始。
会長挨拶の後、新入会員２名（大島氏、小梶氏）の自己紹介がなされる。
その後、議題（１）平成29年度収支決算報告（２）平成29年度監査報告（３）本部総会報告が行われた。総会の後懇親会が開かれ、参加者より近況報告などがなされた。
児玉会長からは横浜会の会員の拡充が重要であるとのご発言もあり蚕糸関係の経歴を持つ方の積極的入会に注力することとした。

同好会だより

※旧同好部会

農工大支援ネットワーク（AT-Nets）

１．第12回企業見学会（中外製薬工業㈱ 浮間事業所）の実施
日　　時　平成30年８月３日（金）
内　　容　工場見学、バイオ医薬品の技術説明他、農工大卒OB・OG社員と学生との懇談会
人　　数　22名
学生の感想　農工大卒OB・OG社員との懇談会は大変望ましく、同窓会の活動はありがたい。医薬品事業の重要性に認識等々。
２．第３回学生とOB・OGとの交流会の開催
日　　時　平成30年12月13日（木）　会場　工学部 11号館
内　　容　①OBの講演、②OBとの懇親会
人　　数　25名
講演者/講演内容　（A氏）機械卒、電器業界、定年／グローバル社会における働き方等々
（B氏）物生院卒、タイヤ業界、現役／会社の業務（働き）における人と人との繋がりの重要性等々
報　告　者　深水　智明（繊工S38）

農工音楽祭

平成31年３月30日（土）午後１時から午後６時まで、農学部講堂において第７回農工音楽祭を開催した。音楽を通した交流を目的に、教職員・学生・OB・OG他が出演し、一般の方も来聴された。
演目は以下の通りである。
①The Dankai Dawns（工学部S46）さらば青春、イエスタデイ他
②You@me（工学部卒）ユーミン他
③CASA NITA Plus（工学部H4）J-POP
④モダンジャズ研究会（学生サークル）Jazz
⑤歌研究会（学生サークル）Red Hot Chili Peppersのカバー
⑥Special Blue（教員・OB）ブルース
⑦Deviban！（教員と学生）ロック
⑧SKDシスターズ（教職員）昭和歌謡
⑨ありんこの家（教員他）ラテンフュージョン
報告者　佐藤　俊幸（農学研究院准教授）

地域再生・地域活性化に東京農工大学の知的資源を活かすネットワーク

（１）府中市市民提案型共同事業への協力（宮井迅吉会員（工化S46）からの提案）　自然エネルギー推進映画「日本と再生」上映と意見交流「エネルギー！府中はどうする？」（府中市、東京農工大学、東京農工大学同窓会共催）
（２）砂川事件裁判の再審請求の支援活動（武藤軍一郎会員（農S34）からの呼びかけ）
この裁判の全過程を通して、安保条約と憲法の関係、治外法権的な米軍基地の存在と日本国民の人権などについて、あらため

て「伊達判決」を学び、生かす現代的意義が深まった。

（3）世界の公共図書館について（学習会）
長塚隆会員（農S45）（情報知識学会会長）が海外の公共図書館の様子を紹介。
加速化するデジタル化に、学校や地域の公共図書館はどのように対応できるか議論。

報告者　淵野　雄二郎（農S43）

長塚会員の刊行図書の紹介

農工大グローバル・コミュニケーション部会

①2018.5.12：定時総会［於：府中市民活動センタープラッツ］
②2018.5.27：茶摘み体験会［於：埼玉県飯能市、内野茶園］
内野博司氏（農S50）の茶畑で留学生（中国、タイ、バングラディシュ、ロシア）邦人学生（AIMS）Gコム部員、ESSOB会員、教員など合計23名が茶摘みから緑茶、ウーロン茶への加工を体験、その他お茶全般の知識を学習。
③2018.6.16：セミナーでの講義［於：本学BASE本館］
リーディング大学院主催の「キャリア開発セミナー」に当部会メンバーの尊田京子氏（農H2）を講師として派遣
④2018.12.16：みかん収穫体験会［於：神奈川県小田原市 耕作放棄地］
本学の亀山名誉教授が支援するこの活動により留学生に農業が抱える問題を提起すると共にみかん狩りの体験（勤労奉仕）活動を当部も後援

報告者　永田　春郎（電気S47）

東京農工大学技術士会

定期総会ならびに技術経歴発表会を、11月10日（土）に工学部総合会館にて開催した。参加人数は17名であった。発表者と演題は次の通り：講演①「農芸化学分野における技術士の役割と課題」高橋宗佐（植防S45）、講演②「女性技術士の活動について」宮地奈保子（環保S63）、講演③「昆虫ロボットの製作」武内晋哉（情コミH22）。その後は同場所にて懇親会をおこない、全員に簡易スピーチをしてもらうなど懇談し、互いの技術士としての専門分野や実績、人となりを知り合い、親睦を深めた。

報告者　東田　英毅（工博H19）

農工大同窓会イノベーション研究会

2018年度は、大学内外からのご要望により、２回の講演会開催を行いました。

６月23日に農学部にて「小動物獣医療の現状と将来の展望を語る」講演会と、動物医療センターの見学も行いました。

11月24日に工学部にて「マイクロプラスチック環境汚染とその対応技術」を工学部の先生からのご要望で、農学部高田先生方にご講演頂きました。

何れも、多数の方にご参加頂き、ご好評を頂きました。

これからも皆さんでアイデアを出し合い、農工大ならではのテーマを取り上げて行きたいと考えています。

報告者　菅野　茂樹（繊高S49）

クラス会だより

電気工学科（２期生）S42 クラス会

電気S42

日　　時　平成30年５月７日（月）
参 加 人 数　14名
実 施 事 項　近況報告・親睦
幹事・報告者　岡田　正久（電気S42）

＜幹事のコメント＞

我々工学部電気工学科２回生は昭和42年３月に卒業いたしました。同期生は36名でした。

ちょうど我々が社会に出て第一線より退き定年退職をしたころを見計らって平成22年５月 横浜で第１回の同期会を開催し21名が参加いたしました。偶数（隔年）年ごとに、５月の連休直後に開催することにし、この同期会を42年卒から「42電工会」と名付けました。

その後、回を重ね平成30年５月、第５回「42電工会」を開催し全国から14名が横浜に集いました。健康堅持方法、日常の生活ぶり、旅行、趣味のスポーツ、参加出来なかった同期生の消息等々の話で盛り上がりました。次回は2020年に元気で再会できることを祈願し散会いたしました。

東京農工大学電気工学科昭和41年卒同期会

電気S41

日　　時　平成30年６月２日（土）
開 催 場 所　東小金井駅前　居酒屋　さかなや道場
参 加 人 数　17名
実 施 事 項　懇親、近況報告、工学部キャンパス訪問
幹事・報告者　来間　繁（電気S41）

＜幹事のコメント＞

２年に１回開催している同期会を工学部キャンパス近くの居酒屋で行った。

23名に声を掛け、出席者は17名でした。近況報告と懇談の楽しい会となりました。終了後に工学部キャンパスを訪れ、同窓会事務局長のご案内を頂き、科学博物館にて明治初期の紡績機の実演等を見学。キャンパス内の各学科の近代的建物をみながら、大きくなった樹木に囲まれた学びの園に、50年前を思い起こしながら、時の変化に驚くとともに今回のキャンパス訪問を満喫しました。

農業工学科昭和54年卒同窓会

農工S54

日　　時　平成30年６月２日（土）～６月４日（月）
開 催 場 所　御徒町「キッチンさくらい」、
　　那須塩原市「マウントビュー那須」
参 加 人 数　25名
実 施 事 項　前夜祭、同窓会、亡き同級生の７回忌追善供養
幹事・報告者　又木　雄二（農工S54）

＜幹事のコメント＞
卒業後、40年近くが経過し、同級生のほとんどが定年退職をしたことから、平成12年以来の本格的な同窓会を開催しました。
６月２日は、御徒町で前夜祭を行い、17名が参加。３日は、那須高原に移動し、板室温泉での入浴やロッジを借り切っての大BBQ大会を行い、こちらも17名が参加しました。４日は、旧馬頭町に眠る同級生に線香をあげに行きました。
卒業以来の再会者もいる中、お互いに近況を報告し、宮城の魚介、鹿児島の肉などを味わいながら、酒を酌み交わすうちに気分は学生時代に戻り、みんなで楽しい時間を過ごしました。

電気科S47年入学第６回クラス会

電気S51

日　　時　平成30年６月９日（土）
開 催 場 所　東京農工大学140周年記念会館「エリプス」
参 加 人 数　15名
幹事・報告者　塗　健治、藪　暁彦（電気S51）

＜幹事のコメント＞
農工大は私たちの在学中に100周年を迎えましたから、エリプスは卒業して約40年後に建てられた建物ということになります。こうした場所でクラス会を開くのもいいものです。近況報告や大学生だった40年以上前の昔話に花を咲かせることができました。懇親会の後は電気科研究棟などキャンパス内を散策してクラス会は解散しました。
電気科S47年入学組ホームページ。http://tat47ers.oldage.jp/ 誰でもご覧になれます。また、昭和47年入学であれば、工学部他学科の方も近況を投稿できます。希望される方は、上記ホームページよりご連絡ください。

農学部昭和39年卒同期会

農学部S39

日　　時　平成30年６月16日（土）
開 催 場 所　50周年記念ホール
参 加 人 数　30名
実 施 事 項　近況と情報交換、懇親会
幹事・報告者　板橋久雄・上田淳治（農S39）、久保田昭彦・上野徳也（農工S39）、矢崎潤一・中村圭一（林S39）、笠義介（林産S39）、中山峯雄（農化S39）、吉澤重克（獣医S39）〈報告者　上田〉

＜幹事のコメント＞
卒業後30年の節目を契機に始まった同期会も、３年ごとの開催で６回目を迎えました。卒業者131名中、参加者は30名でしたが、久しぶりの再会を歓び、情報交換と懇親の楽しいひと時を過ごすことができました。
次回は不確定ながら、各科幹事の皆さんと連携を維持し、会員との密接な関係を保ち続けていくことで一致しています。

西ヶ原寮41会

西ヶ原寮S41

日　　時　平成30年６月29日（金）
開 催 場 所　紀州鉄道「熱海ホテル」
参 加 人 数　８名
実 施 事 項　懇親・近況報告
幹事・報告者　若尾　俊雄（製糸S41）・小山　邦彦（電気S41）

＜幹事のコメント＞
2017年６月に「西ヶ原寮歌」を伝統歌に加えて頂きました。この録音の様子を同窓会のホームページにyoutubeを貼り付けてアクセス状況を見ていましたが、10回程度しかアクセスがありませんでした。同窓生の中にはホームページを知らない方もいらっしゃると思いますので、この「農工通信」で紹介しておきます。インターネットで「東京農工大 クラス会便り」と検索して、「西ヶ原寮41会」のページを開いてください。2018年７月には昭和40年に撮影された寮生一同の写真に寮歌・歌詞などを載せています。元寮生の若かりし頃や懐かしい友人を見つけてください。

農業生産工学科昭和44年卒業生クラス会

農工S44

日　　時　平成30年６月29日（金）～30日（土）
開 催 場 所　全国設計事務所健康保険組合熱海リフレッシュセンター
参 加 人 数　12名＋ご夫人２名
実 施 事 項　懇親

幹　　事　藤木　信秀、日下　康彦（農工S44）
報　告　者　加藤　誠（農工S44）

＜幹事のコメント＞
一昨年に引き続き、クラス会を行った。参加は、12名の同窓と２名の奥さんでした。隣接するゴルフ場にて、日下さん、奥澤さん、木原さんと竹本さんはゴルフを楽しんでから集合。夕食をとりながらみんなで近況を語った。翌日は、朝食、記念撮影後、解散。
おおよそ10名はセンター近隣のＭＯＡ美術館を訪問。
当日は常設展示以外に、光琳の作品展も併設され、久しぶりに、目の保養ができた。美術館の別邸の館で抹茶も楽しむことができた。梅雨の合間の晴天に恵まれ、久しぶりに同窓と楽しい時間が過ごすことができた。

平成30年度東京農工大学林務関係同窓会

林、環保、環資、地生

日　　時　平成30年６月30日（土）
開 催 場 所　「函館海や川越店」
参 加 人 数　14名
実 施 事 項　近況確認、親睦
幹事・報告者　田畑　琢己（林S62）

＜幹事のコメント＞
埼玉県内の林務関係者の同窓会です。昨年に続いての開催となりました。最年長者は林学科を昭和52年に卒業した同窓生から今年入庁した新規採用職員まで幅広い年齢層でした。

硬式野球部後援会　2018年度ＯＢ戦

日　　時　2018年８月４日（土）
開 催 場 所　東京農工大学工学部グラウンド
参 加 人 数　卒業生30名、現役生20名
実 施 事 項　毎年恒例。昼に現役vs OBの野球の試合。夜に懇親会。
幹事・報告者　山口　陽三（電情H9）

＜幹事のコメント＞
命の危険さえあると言われた暑さの今年の夏。その猛暑の中にも硬式野球部ＯＢが今年もまた小金井グラウンドに集まりました。現役vsＯＢの一戦はＯＢが先制して前半を２-０とリード。近年になく息詰まる展開になりました。最後は、春の４部リーグ戦10試合で100点以上をたたき出した現役側が逆転を果たしましたが４-２の辛勝と、いい試合になりました。場所を移しての夜の宴会も盛り上がりました。
また、長く会長を務めてこられた和田伊知朗先輩（植防S58）が任を降り、下里友則君（分子Ｈ９）が新しく会長に就任しました。
ＯＢのみなさん、来年もご参加お願いします。特に新会長周辺の世代の方々、よろしくお願いします。
http://www.yozonet.com/noko_baseball_ob/

蚕学研究室 祝　黄色先生喜寿パーティー

蚕学研究室

日　　時　平成30年８月25日（土）
開 催 場 所　新宿
参 加 人 数　13名
実 施 事 項　黄色先生喜寿お祝い、親睦、近況報告
幹事・報告者　河本　聡子（蚕糸H5）楠　賢木子（生産H7）
和田　順子（生産H7）

＜幹事のコメント＞
私たち、蚕学研究室の恩師の黄色先生が今年、喜寿を迎えられます。
そこで、研究室出身の4学年が合流し、黄色先生を囲んで喜寿会を開きました。仕事の都合で准教授横山先生、数名の欠席者がありましたが、お祝いの詞や近況報告など楽しい会となりました。
黄色先生の変わらぬ楽しいお話のおかげで一瞬で研究室での生活に戻ったようで、懐かしい話に花が咲き、とても楽しい時間を過ごすことができました。

昭和47年入学 植物防疫学科 クラス会

日　　時　平成30年８月26日（日）
開 催 場 所　第一ホテル両国
参 加 人 数　14名
実 施 事 項　懇親、近況報告等
幹事・報告者　佐竹　章（植防S51）

＜幹事のコメント＞
この度卒業以来６回目のクラス会を開催しました。最近の５年間は定例会化していますが毎回クラスの半数近くの皆さんに出席いただいております。当日は近年にないほどの厳しい暑さにもかかわらず、各自の近況や最近の話題などについて大いに盛り上がり楽しい一日となりました。次回は初めて長野県で行うこととなり、名所旧跡巡りに加え地元の美味しい食べ物など幹事さんが様々な企画を練っています。ぜひ多くの皆さんの参加をお待ちしております。
なお今後は、東京近郊とクラスメイトの出身地を交互に開催地とすることで了解されたので申し添えます。

工業化学科・化学工学科　S42卒業クラス会

工化S42・化工S42

写真前列右から　石井（昭）、松本（俊）、斎藤、成瀬、
安藤、三島、金山、藤森　各氏

開　催　日　平成30年８月29日（水）
開 催 場 所　新宿「響」
参 加 人 数　８名（クラス会当日の世話役メンバー）
幹事・報告者　石井　昭一（工化S42）

＜幹事のコメント＞

工学部の応用分子化学科同窓会誌（Molecule No.26 2018.3）に「卒業50周年記念クラス会及び卒業50年を振り返って」を投稿し、発刊されたので、それを酒の肴にして暑気払いを兼ね、振り返りの同期会を開きました。

皆、いまだに忙しい人たちですが、スケジュールを合わせて集まることができました。

卒業50周年記念クラス会（平成29年５月18日小金井キャンパスにて）当日の出来事や、その後の出来事など話は尽きませんでした。次回はゴルフ場にて再会するということを決めて散会しました。

昭和53年卒業農業生産工学科第３回同窓会

農工S53

日　　時　平成30年９月29日（土）、30日（日）
開 催 場 所　千葉県一宮「一宮シーサイドオーツカ」
参 加 人 数　13名
実 施 事 項　１泊しての同窓会、ゴルフ（台風で中止）
幹事・報告者　浜口　憲一郎（農工S53）

＜幹事のコメント＞

卒業40周年で還暦を過ぎ、３回目となる同窓会を開催しました。当日は想定外の台風24号の来襲で帰れなくなりそうな３名がキャンセルとなりましたが、26名中13名が集いました。

前回から９年が過ぎ、風貌に変化が現れたものの、気質は変わらない仲間と楽しい一時を過ごしました。測量実習や卒業旅行などの写真に当時の懐かしいヒット曲を軽快にアレンジしたスライドショーを肴に盛り上がり、参加できなかったメンバーにも電話をかけ、みんなが元気でいることが確認できました。

次回は、２年後に三重県の榊原温泉での再会を約束し、台風の風の中、散会となりました。

農学科・農芸化学科Ｓ31合同クラス会

開　催　日　平成30年10月10日（水）
開 催 場 所　有楽町「響」
参 加 人 数　９名
幹事・報告者　畑中　孝晴（農Ｓ31）

＜幹事のコメント＞

最近は在校時一緒に授業を受けていた農学科と農芸化学科が合同でクラス会を開くようになりました。年ごとに出席者が減るのは寂しい限りですが、今回もいわき市や飯田市からの参加もあり賑やかな時を過ごすことが出来ました。昔のことや病気の話が多くなるのは仕方がありませんが、まだ現職で海外と行き来している者もいるし水割りは薄いからストレートダブルなんて言っている豪の者もいて、この会も暫らくは続きそうです。

余燦会（農芸化学43年卒業）クラス会

農化S43

長崎・福江島の岐宿の魚津ヶ崎にて

開　催　日　平成30年10月25～27日
開 催 場 所　長崎・五島（福江島）＆　長崎市内
参 加 人 数　14名
幹　　事　白井　玄爾、玉城　武（農化S43）
報　告　者　永野　量彦（農化S43）

＜幹事のコメント＞

結束が強くほぼ定期的に東京でクラス会を開いて来たが、卒業50年の区切りに計画しました。現地集合・解散（二泊三日）という計画で、仲間の半数以上が参加、更に夫人３人の合流が花を添えました。例年をしのぐ大きな台風もおさまった好天に恵まれ、長崎港から100km高速フェリーの往復は快適でした。島内はレンタカー３台に分乗、遣唐使が最後に離れた美しい海・教会・東シナ海の絶景の夕日と共に、海の幸を味わいました。長崎市内でも中華街会食、中心地“よっそう”の茶碗蒸しで盛り上がり、自由解散しました。大いに親睦を深めると共に優しい土地柄を知ることができました。

製糸学科古希のクラス会

製糸S46

日　　時　平成30年10月27日（土）
開 催 場 所　140周年記念会館「エリプス」
参 加 人 数　21名（内３名先生）
実 施 事 項　参加者各自の近況報告、写真撮影、二次会
幹　　事　花輪　正明、三木　茂（製糸S46）
報 告 者　溝口　正伸（製糸S46）

＜幹事のコメント＞
当日は、朝のうち小雨が残るも晴れ上がり好天となりました。九州から２名、山形、石川、福井、和歌山、滋賀の遠方より懐かしい顔ぶれが集まり約半世紀ぶりの再会を喜びあいました。４名の物故者に黙とう後、再会と健康を祝して乾杯。各自の近況報告では現役の仕事の事、家族の事、毎日の生活状況等これからも元気に楽しく暮らすノウハウも語られました。科学博物館見学では、当時の機械、設備、資料を見直し感慨深いものがありました。次回卒業50周年で再会する約束で無事解散となりました。

農業生産工学科Ｓ43年卒同期会

農工S43

日　　時　平成30年11月９日（金）
開 催 場 所　府中キャンパス及び府中「歌行燈」
参 加 人 数　13名
実 施 事 項　卒業50周年記念親睦会、校舎訪問（３号館）、キャンパス（学園祭）散策
幹事・報告者　速水　洋志、大泰司　正之、宮原　正利、渡辺　彰（農工S43）

＜幹事のコメント＞
農学部学園祭の初日、農学部正門前にて東城先生に出迎えていただき、昭和43年卒業から50周年の同期会が始まりました。懐かしい３号館の教室で、大学の近況や地域環境システム学科を構成する農業環境工学などの関連部門、学生寮の状況などについて説明をいただきました。今回は、農業土木と農業機械の両専攻合同で行うこととし、残念ながら３名が鬼籍に入られましたが、22名中13名の参加がありました。農学部本館の農工大科学博物館分館の見学、出身サークルの模擬店巡りなどの後、府中駅に再集合し「歌行燈」にて、それぞれの半世紀を振り返りつつ、卒業以来という方もおられ、時空を超えた熱く楽しい語らいのひと時を過ごし、再会を期して散会しました。

工学部　数理情報工学科　昭和56年卒業同窓会

数情S56

開　催　日　平成30年11月17日（土）
開 催 場 所　新宿プリンスホテル
参 加 人 数　23名
実 施 事 項　懇親会、近況報告
幹事・報告者　五十嵐　智、林　努、志村　隆則（数情S56）

＜幹事のコメント＞
今年度、数理情報工学科の２期生が全員還暦を迎えました。これをトリガにした区切りの同窓会です。久々の同窓会でしたが、すぐに学生時代に戻ったように、和気あいあいの雰囲気になり、楽しい時間を共有できました。各自の近況報告では、今後のビジョン、仕事、自由時間、趣味、健康、介護や家庭の問題等いろいろな報告があり、一人の持ち時間を大幅にオーバーする盛り上がりでした。来年以降、定期的に同窓会を開催する約束をして散会となりました。

平成30年度バスケットボール部OB・OG会

バスケットボール部

日　　時　平成31年３月２日（土）
開 催 場 所　東京農工大学 工学部体育館および生協
参 加 人 数　23名
実 施 事 項　納会およびOB・OG会
幹事・報告者　岩見　雅人（工学研究院助教、バスケットボール部顧問）

＜幹事のコメント＞
今回は２部構成とし、１部はOB・OGとの合同練習会、２部は場所を移して工学部生協にて納会と懇親会を行ないました。総勢20名以上のOB・OGとそのご家族、現役学生にお集まりいただき、活気に溢れた有意義な時間を過ごすことができました。
今年も例年通り、学園祭期間中（11月）にOB・OG会を定期開催する予定です。今後もOB・OGの皆さまと現役学生が交流する機会を設けていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

フォークダンス部ＯＢ会

農工大学フォークダンス部（FDC）

（左から永沢、植野、前田、古川、東野、水庭、佐藤さん、渋谷さん、
前列左から北川、田部井、近藤、後列有賀、桑名、伴）
男性は敬称略

開　催　日　平成31年３月９日（土）
開 催 場 所　新宿アナナス
参 加 人 数　14名
幹事・報告者　古川　誠（環保S52）

＜幹事のコメント＞

今回は14名と過去最多の参加がありました。今回は幹事伴さんの人脈の力で、大先輩の水庭博さんや久しぶりの東野先輩、有賀先輩、パートナー校の白梅学園から女性陣も参加いただきました。

また、昨年から後輩の参加もあり、大変層の厚いＯＢ会となり、若干話題は世代間ギャップも感じられましたが、そこは先輩後輩の固い絆で結ばれた我がFDC。各位の現状や過去の想い出など語り合い大変楽しいひと時を過ごしました。

さて、来年も３月第２週の土曜日を予定しましたので、この投稿をご覧になった諸氏は是非ご参加ください。

昭和43年入学農学科養蚕学科合同クラス会

農・養蚕S47･48

日　　時　平成31年４月６日（土）
開 催 場 所　オールドステーション（東京駅）
参 加 人 数　14名（農学科10名、養蚕学科4名）
実 施 事 項　近況報告・意見交換を含めた親睦
幹事・報告者　鈴木　創三（農S47）

＜幹事のコメント＞

農学は札幌、福島、京都の峰崎、松川、長に野村、田渕、峰松、根本、一郎・一男・創三の鈴木三兄弟？養蚕は新井、伊藤、草野、堀が出席。全員が古希を迎える平成最後の年のクラス会を祝って開会の乾杯！図書出版の苦労、死おそるるに足らずとの説法、天国暮らしに入った幸せな心境、北杜の白百合に呼び出され電話参加等々、近況報告も百花繚乱！18：00に御披楽喜 !!

来年の合同クラス会は、「４月第２週の土曜日の午後」、令和２年４月11日（土）14：00～17：00、農工大農学部同窓会会館「武蔵野荘」で開催予定。

工業化学科S39年卒クラス会（卒業55周年記念普咲会）

工化Ｓ39

日　　時　令和元年５月15日（水）
開 催 場 所　帝国ホテル
参 加 人 数　24名
実 施 事 項　親睦　はとバスパノラマドライブ　江戸城本丸跡散策
幹事・報告者　甕　秀麿（工化S39）

＜幹事のコメント＞

昨年暮、湯河原にて平成最後の普咲会（フサク会を改称）を開催（幹事、藤田氏）。湯に浸かり懐旧にふけったが、席上、来年は「卒業55周年」、記念パーティーを開こうとの声。３人（伊王野、町山、甕）の世話役を決め散会した。これを受け今回の開催に至ったが、当日は松山、広島、いわき、関西方面から同期生23名が参集、金子六郎先生（元物理化学教授、科学博物館館長）にもご臨席賜わった。先生は御年94歳大いに励まされた。重田氏の乾杯後、校歌を流し、野田氏の詩吟吟詠もあり若き学生時代が蘇えった会であった。２時間があっという間。再会を約し会場をあとにした。

令和元年度　マツダ（株）新入社員歓迎会

日　　時　令和元年５月17日（金）
開 催 場 所　えびすの宴
参 加 人 数　22名
実 施 事 項　歓迎会（来賓挨拶・自己紹介・歓談）
幹事・報告者　石田　一之（機械S59）

＜幹事のコメント＞

今年も３名の農工大卒業生がマツダ（株）に入社しました。毎年ＧＷ明けに五月病予防を兼ねて歓迎会を開催しています。現在、マツダ（株）には農工大OB/OGが55名勤務しています。

今年は同窓会活動が活発な企業を訪問し卒業生と交流を図りたいと大学サイドからコンタクトあり、大学から岡山理事・副学長、大野企画課長、同窓会から池谷事務局長の３名に参加して頂きました。

岡山理事から新入社員への激励、参加者全員『平成で一番楽しかった事』スピーチ、新入社員の『自己ＰＲ』スライド上映など、あっという間に楽しい時間は過ぎお開き。その後、新入社員は優しい先輩に連れられ流川・薬研堀を下っていきました。

掲 示 板

同窓会からのお知らせ

◯お勤めの会社に同窓会がありますか？

今お勤めの会社の中に、本学同窓生による同窓会がありませんか？会社の中に同窓会を組織して、新入社員歓迎会や忘年会を開催しているケースも少なからずあるようです。これまでも数回、大学理事（副学長）や同窓会事務局長がお邪魔して懇親を深めさせていただいております。

同窓会では、今まで企業に就職されている方とのつながりが、必ずしも緊密ではなかったと考えています。卒業後も何らかのお手伝いができればと思います。

そこで、今お勤めの会社に同窓会がすでにある方や、これから組織しようとしている方、下記に連絡いただけないでしょうか。活動のご支援や在学生のリクルート支援（仲介）など、同窓会としてご協力させていただきたいと思います。

（一社）東京農工大学同窓会事務局　　事務局長　池谷紀夫
電話：042-364-3328　E-mail：info@tuat-dousoukai.jpn.org

幻の「葵町製糸場」、多くの方のご支援で復元中！

2019年2月1日、東京農工大学科学博物館がクラウドファンディングを用いて「勧工寮葵町製糸場」3Dデジタル化のための支援募集を開始しました。

製糸場といえば世界遺産にもなっている富岡製糸場が有名ですが、同時期に現在の港区に作られたのが葵町製糸場です。富岡製糸場がフランス式の製糸法だったのに対し、葵町製糸場はイタリア式の製糸法を採用しています。どちらも機械製糸技術の伝播に貢献したと言われていますが、葵町製糸場は稼働時間が短かったため資料が乏しく幻の製糸場となっていました。しかし、2017年度に農工大科学博物館において、この葵町製糸場の図面が発見されたのです。そこで、まずはコンピュータを用いて図面を3Dデジタル化、さらには3Dプリンタによる模型作成によって復元するために、インターネットを通して事業を宣伝し資金を募るクラウドファンディングを利用しました。

同窓会も農工通信にパンフレットを同封して協力いたしました。おかげさまで資金は順調に集まり、2月9日に目標金額100万円を達成！最終的には3月29日までに153名の方から総額208万円のご支援をいただきました。

卒業生の中にはご支援くださった方が大勢いらっしゃいます。有難うございました。これから、葵町製糸場の姿が明らかになっていくのがとても楽しみです。

本企画に関する詳細は東京農工大学科学博物館ホームページや、クラウドファンディングサイトReady forをご覧ください。(すでに募集は締め切っております。)

2019年11月10日(日)にホームカミングデーを開催します

毎年、府中キャンパスと小金井キャンパスの交互で開催しているホームカミングデーを2019年11月10日(日)に、小金井キャンパスで開催します。

工学部応用化学科の渡邊敏行教授による講演のほか、工学部・工学府学生による研究発表が予定されています。また、同日に「秋の工学部オープンキャンパス～研究室大公開～」も開催されており、卒業生の方々にも最先端の研究に触れて頂く機会を作るべく、工学部内広報戦略委員会で検討を進めております。

卒業生同士の懇親会も予定しておりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

新工学部はじまる

2019年４月から工学部の８学科(生命工学科、応用分子化学科、有機材料化学科、化学システム工学科、機械システム工学科、物理システム工学科、電気電子工学科、情報工学科)が再編され新たに６学科(生命工学科、生体医用システム工学科、応用化学科、化学物理工学科、機械システム工学科、知能情報システム工学科)の体制がスタートしました。

新学科体制は、①将来、社会参画する際の自らの強みをはじめから意識できる、②各新学科で複数の専門分野を学び、幅広い専門性が身につく、③自らのメジャーとなる専門分野の体系が身につく、ことを特徴とした授業カリキュラムが組まれています。専門性の幹を育て、多様性の枝を広げる、欅型教育による工学的知的プロフェッショナル人材の育成を目指しています。

新農学府はじまる

農学府は2019年４月より学府改組が行われ、農学専攻がスタートしました。これまで９つに分かれた専攻が一つになり、生物生産科学コース、応用生命化学コース、自然環境資源コース、食農情報工学コース、地球社会学コース、国際イノベーション農学コースといった６つのコースで構成されています。専攻のボーダーをなくし農学を基盤としながらも学際的に地球規模の課題に挑める人材の育成を目的としているため、自分のコース以外の講義の履修も卒業要件に設定されています。今年入学した大学院１年生たちは、実験やＴＡの合間を縫って様々な講義を受講するべく日々奔走しています。

東京農工大学・東京外国語大学・電気通信大学による大学院『共同サステイナビリティ研究専攻』を設置

2019年4月から東京農工大学・東京外国語大学・電気通信大学による大学院『共同サステイナビリティ研究専攻』がスタートしました。本大学院は、今日人類が直面するグローバルな課題、とりわけ開発、環境、平和に関わる問題の解決に向けて取り組むことがサステイナビリティ（持続可能性）研究の使命と意義であるとの考えに基づいて設立された、博士後期課程教育研究プログラムです。

これまで本同窓会誌でもお知らせして参りました三大学による様々な連携事業の実績を基に人材養成を展開していきます。①文理各分野における卓越・ユニークな単科大学の協働により、国内外で活躍する強い人材を養成、②西東京エリアの近接地における実質的･効果的な教育の展開、③複合新領域の研究の推進、を特色とした教育研究プログラムになっています。

第１回創立記念小金井キャンパス祭を開催しました

本学の創立記念日（５月31日）に併せ、第１回創立記念小金井キャンパス祭を2019年５月25日に開催いたしました。

五月晴れの名にふさわしい、晴れ渡った空の下、ステージ、屋台、体育館の企画から、博物館での実験や展示、ご協力いただいた研究室の紹介企画や実行委員会の受験相談など、地域の方々や受験生の方々にも多くご参加いただき、賑わいを見せておりました。

これもひとえに援助、ご協賛をいただきました同窓会、企業の皆様方、近隣の住民の方々、またご来場者様、ご協力いただきました皆様のおかげと思います。誠に有難うございました。

工学部機械システム工学科２年　石橋　美野里(工学部学園祭実行委員会)

慶　弔

（敬称略）

慶　事　お祝い申し上げます

平成30年秋の叙勲

南波　利昭（同窓会代議員・農S46）　瑞宝小綬章
小林　　壽（鳥取県前支部代議員・製糸S24）　旭日単光章

慶事ニュース

ご当選おめでとうございます（2019年選挙）

鷹廣　　純（生産H９）　広島県議会　安佐南区（広島県議会議員選挙）
小林東一郎（植防S56）　長野県議会　中野市（長野県議会議員選挙）

※2019年７月１日現在

弔　事　ご逝去を悼み、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます

元学長・名誉教授 同窓会名誉会長	梶井　　功	
名誉教授	藤沢　偉作	
農	須藤　隆宏	(S25)
	藤村　　勲	(S25)
	飯塚　敏明	(S31)
	仲澤　　泰	(S32)
	橘田喜一郎	(S33)
	永井　正二	(S35)
	細田　敏昭	(S41)
	櫻井　　勇	(S42)
生物	吉川　正夫	(S20)
農甲	吉野　昭朗	(S22)
養蚕	掛井惣恵茂	(S20)
	浜本(中村)淳	(S23)
養実	飯嶋　善積	(S21)
	畑島　　剛	(S23)
栽桑	堀池　　猛	(S19)
繊農	石塚　貞夫	(S25)
蚕糸	橘田　文明	(S50)
植防	石崎　祐子	(S55)
林産	宇都　英二	(S50)
林	草階　健一	(S18)
	髙橋　鋏一	(S19)
林	榎本　政雄	(S28)
	中川健三郎	(S30)
	大平　正勝	(S30)
	西田　　滋	(S32)
	阿部　良明	(S33)
	新田　　肇	(S33)
	須田　成果	(S34)
	平岩　元宣	(S40)
	湯本　達也	(S46)
農土	山木　　益	(S24)
獣医	板庇外茂雄	(S32)
	伊藤　悦行	(S39)
	露崎　国夫	(S42)
獣実	大塚　米次	(S16)
	安達　　中	(S16)
獣畜	佐藤　喜隆	(S20)
	松井　光蘭	(S22)
	石川　昭三	(S24)
	赤塚　　護	(S25)
製糸	鈴木　和夫	(S29)
糸別	小林　茂男	(S28)
教婦	森脇(木下)桃江	(S16)
	二木(田口)順	(S21)
繊維	立石　一磨	(S19)
繊工	横尾　栄三	(S35)
	田原　壮爾	(S38)
	有元なな子	(S45)
繊高	矢島　　茂	(S50)
化工	高野　純一	(S42)
	箕田　晴夫	(S49)
繊化	塚原　貞雄	(S22)
	鈴木　一男	(S24)
	高野　鐵三	(S25)
	麻薙　悦男	(S29)
	小川弥太郎	(S31)
	村田　　稔	(S32)
工化	荻田亀誉志	(S40)
機械	福地　　正	(S50)
電気	成行　純一	(S44)
	河西　敏弘	(S45)
応物	篠原　忠雄	(S49)
生命	加藤　　周	(H28)

（学科、卒年順）

※訃報の掲載は2018年８月以降ご連絡をいただいた方（ご家族から掲載の許可をいただいた方および新聞等で公表された方のみ）を掲載しています。

株式会社 八木製作所

創　　業：1963年(昭和38年)
所 在 地：本　　社　(JR中央線豊田駅徒歩1分)
東京都日野市豊田4-36-16
八 王 子 工 場　(JR中央線八王子駅バス7分徒歩3分)
東京都八王子市大和田町3-4-17
八王子第二工場　(JR中央線八王子駅バス7分徒歩5分)
東京都八王子市大和田町1-21-12
業務内容：事務機器、光学機器、医療機器等の部品の精密加工及び治具の設計・製作・組立

H　P：http://www.yagiseisakujo.co.jp
MAIL：support@yagiseisakujo.co.jp

困った時も八木製作所!

幹事さんのお手伝いをいたします！ 幹事さん、受付楽々！
同窓会を開こう!
還暦同窓会・支部会
部活動OB・OG会
同　期　会

ご相談ください!
☆まずはお気軽にお問合せください！
同窓会支援事業部
TEL.097-556-4141
http://dousou.info/

映像に感動を! 写真にインパクトを!
ドローン空撮 承ります！
4K品質
スチル・動画

周年行事等の記念に!
自社PR素材として!

※大阪航空局より、
全国包括・飛行に係る許可・承認済
Youtubeで動画公開中！
☆まずはお気軽にお問合せください！
ドローン空撮についてのお問合せ先
TEL.097-558-3444
https://www.ohp.co.jp/cre_drone
小野高速印刷株式会社
心を動かすメディアを創造する
TEL.097-558-3444
https://www.ohp.co.jp

CATERING PLAN
パーティー ご宴会は サングリアで!!
忘年会・新年会・歓送迎会・同窓会・謝恩会など各種パーティー
公共施設・会社でのご用命はサングリアのケータリングサービスを
お客様にふさわしい雰囲気で手作りのおいしい料理と楽しいお酒を
ご要望に合わせたスタイルでご調整いたします。
TELEPHONE 042-368-6368
HOMEPAGE https://santgria.jp/
ADDRESS 東京都府中市本町1-1-7
IN VINO VERITAS
SANTGRIA

事務局だより

1．会費納入のお願い

同窓会はみなさまからの会費で支えられています。
本会の維持・活動のために会費納入にご協力をお願いいたします。
会費は次の通りです。

1. 終身会費　30,000円
2. 年 会 費　　1,500円（年会費は年度４月～３月を１年としています。）

同封の振込票にて、上記いずれかの金額を納入してください。
◇農工通信に払込票が同封されていない方は納入済です。
◇過去に遡って納入の必要はありません。
※7月中旬時点のデータに基づいておりますため、行き違いで既にご入金いただいておりましたらご容赦下さい。
一般社団法人化に伴い、同窓会の会員種別が変わりました。
東京農工大学を卒業または修了した方全員が同窓会の会員「一般会員」になります。
会費を納めていただくと「正会員」になります。
皆様の現在の会費納入状況は、送られる会報の宛名ラベルに記載されています。
　例）正会員（終身または年）、一般会員、賛助会員
保護者の方が賛助会費（30,000円）を納入している場合は、学生本人が卒業・修了時に、正会員（終身会費）に切り替わります。改めて会費納入の必要はありません。

2．住所等の変更・メールアドレスの新規登録について

農工通信は、ご登録いただいているご自宅住所にお送りしております。転居等で住所等、登録内容の変更があった場合は、同窓会事務局までご連絡願います。※実家住所を気付（様方）でご登録の場合、届かないケースが増えておりますので、現住所をお知らせください。
また、メールアドレスを登録いただきますと、各種連絡がスムーズに行えますので登録をお願いいたします。
登録内容の更新・変更は、同窓会ホームページ「会員情報」からお手続きができます。
従来通り、「住所・勤務先変更連絡票」でも受付けしております。
なお、同窓会が保有している会員の個人情報の公開については、ご本人の意向に沿って管理・運営し、個人情報保護には万全を期しております。

3．名簿提供について

平成22年５月『同窓会会員名簿』発行の廃止に伴い、個人情報の提供につきましては、部会・支部・クラス会からの依頼により、従来の会員名簿に替わるサービスを行っております。

【申請書(「(様式１)同窓会員個人情報提供依頼」)の入手方法】
1)同窓会事務局へ電話・メール等で、送付依頼
2)同窓会ホームページ「各種申請フォーム」からダウンロード

【申請手続き】

利用目的	申請者	申請書	必要書類
部会・支部活動	部会・支部の連絡員	(様式１)同窓会員個人情報提供依頼	－
クラス会・ＯＢ会等の開催	同窓会員		身分証明書(運転免許証、健康保険証など)のコピー

※個人的な情報提供依頼は、ご本人の承諾を得て情報を提供します。

4．就職先情報提供のお願い

同窓会では就職支援の一環として、就職活動中の在学生に対し、みなさまの勤務先と氏名の情報提供をしております。在学生への情報提供を希望されない場合は、「本学学生への就職支援」について、**2019年10月末日までに、同窓会ホームページ「会員情報」または、同封の「住所・勤務先変更連絡票」にて** 同窓会事務局までお知らせください。**ご連絡がない場合は了承されたものとして、就職情報を在学生に提供させていただきます。**

同窓会からのお知らせ

◯卒業生の証明書の有料化について

2019年4月4日から、大学が発行する卒業生の証明書発行手数料が有料化されている事をご存知ですか？卒業証明書、修了証明書、成績証明書、在籍証明書、学位授与証明書、学力に関する証明書（教職課程に関するもの）の発行申請をすると、１通500円かかります。

これに伴い、「証明書発行手数料収納代行システム」が導入されています。ご自分のパソコンから、証明書発行申請ができコンビニで手数料の支払いができるというものです。

証明書を申し込むと、証明書発行手数料…500円／通、郵送費360円（レターパックの場合）、決済手数料250円（決済金額合計5,000円以下の場合）を支払うことになります。

今回、卒業生の負担を少しでも軽減するために、この決済手数料を同窓会が負担させていただくことになりました。消費税率の引き上げ等厳しい社会情勢ですが、少しでもご支援できればと思っております。

--- 詳細は下記の大学ホームページをご覧ください。---

https://www.tuat.ac.jp/

編集後記 Editor's note

広報・情報部長　亀山秀雄（化工S48）

昨年10月１日にスタートした「一般社団法人東京農工大学同窓会」の最初の総会が６月22日に開催され、能條武夫氏から栗原績氏に同窓会長のバトンが手渡されました。また、法人化に尽力された滝山博志先生も今回をもって理事長を退任し、千年篤理事長が運営委員会の代表に就任しました。この農工通信は、令和の新元号のもと新しい時代を切り開く東京農工大学の社会的意義を卒業生、在学生、母校並びに社会に伝える情報プラットフォームとしてますます重要な役割を担っていくことになります。

同窓会は、卒業後も生涯に亘って、世代・専門を超えた交流と切磋琢磨を行い、大学や社会への貢献を実現するコミュニティであります。その目的を実現するために、同窓生への貢献と母校および社会への貢献という２本の柱をつないで様々な事業を進めていく上で、これからも農工通信の場を積極的に活用して頂きたいと思います。特に、支部での地域活動や地域の魅力について積極的に記事をお寄せ頂くようにお願い致します。

農工通信　第97号

発行日　令和元年（2019年）８月１日
発行所　一般社団法人 東京農工大学同窓会
連絡先　〒183-8538 東京都府中市晴見町3－8－1　（一社）東京農工大学同窓会事務局
TEL 042（364）3328　FAX 042（335）3500
e-mail info@tuat-dousoukai.jpn.org　URL http://www.tuat-dousoukai.org/
振替口座　00120－8－265877番　加入者名　一般社団法人 東京農工大学同窓会
印刷所　小野高速印刷株式会社
〒870-0913 大分県大分市松原町2－1－6

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター（FSセンター）で栽培した原料（米・芋・麦）をもとに製造した農工大ブランドの本格焼酎「賞典禄（しょうてんろく）」を販売しています。
ご好評いただいております「賞典禄（しょうてんろく）」米・芋・麦の本格焼酎に加えて、芋・麦の熟成した原酒もそろい踏みとなり、ますます品ぞろえが豊富になりました。
この原酒は、本格焼酎の個性そのものが凝縮されている焼酎で、一味違う深い味わいを楽しめますので是非ご賞味下さい。

［しょうてんろく］

賞典禄

農工大ブランド本格焼酎

お中元、お歳暮、贈り物に最適
部会、支部会、同窓会でも
ぜひご賞味下さい。

酒類販売管理者標識	
販売場の名称及び所在地	東京農工大学農学部フィールドサイエンスセンター 東京都府中市幸町3－5－8
酒類販売管理者の氏名	本　林　　隆
酒類販売管理研修受講年月日	平成29年 8 月30日
次回研修の受講期限	平成32年 8 月30日
研修実施団体名	社団法人 日本ボランタリー･チェーン協会

原酒（麦）　米焼酎　芋焼酎　麦焼酎　長期貯蔵酒（米）

賞典禄 FAX 注文票 以下のとおり注文します。

東京農工大学 FS センター　宛　　FAX：042-367-5801

年　　月　　日

【ご注文内容】

原酒 麦焼酎（2,500 円）43 度 720ml	本	米焼酎（1,500 円）25 度 720ml	本
長期貯蔵酒 米焼酎（1,800 円）41 度 720ml	本	芋焼酎（1,500 円）25 度 720ml	本
焼酎 米・芋・麦３種セット（4,200 円）25 度 720ml×3	セット	麦焼酎（1,500 円）25 度 720ml	本
		合計注文金額	円

【ご注文者様情報】

お名前		フリガナ	
住所	〒		
電話番号		FAX 番号	
生年月日	T.S.H　　年　　月　　日		※年齢確認をさせていただく場合がございますのでご了承願います。

【ご注意】
※1　お支払いは代金引換またはクレジットカードになります。詳しくは下記 URL をご覧下さい。
ただし、FAX でご注文された場合のお支払いは、代金引換のみとなりますので、ご注文者様以外への配送は致しかねます。
※2　ご注文いただいた上記金額の他に、送料（5,000 円以上は無料）及び代金引換手数料（代金引換額に応じた所定の金額）が必要になりますので、予めご了承願います。
※3　本注文票により収集された個人情報は、賞典禄の販売以外の目的には使用いたしません。

ネットショップ：FS センター農工夢市場ネットショップ

http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/

問い合わせ先　農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務室　TEL042-367-5811